京城日報

十五日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵税一ヶ月金十五錢 郵送に限り前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰一行金八拾錢 ▲二號活字八字詰一行金[illegible] ▲三號活字同上 ▲四號活字[illegible] ▲六號活字[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

總督訓示
道長官に對する

臨時道長官會議第一日に於て席上各道長官に對し長谷川總督の爲せる訓示左の如し

不肖曩に朝鮮總督の命を拜するや施政の方針幷に官紀の振粛に就き訓示する所あり今亦各位を會し管内の狀況を總取するに當り更に所思を述べむとす

顧ふに一般の秩序を保持し敎化を普及し特に力を殖産興業に效して積衰の頽勢を挽回し以て國利民福を圖るは日韓併合以來不易の方針なりとす是を以て各種の産業漸次興起し殊に農鑛水産の如き主要産物は始政當時に比し其の額を倍加するに至れり然れども朝鮮は天與の富源饒にして開發を待つもの頗る多きを以て益々農耕蠶桑の法を改良し殖林畜産漁撈の利を收め鑛物採掘の業を殷にし工業の生産增加と品質改良とを企圖せざるべからず是れ本總督の特に力を此に致して前に繼ぎ後を成さむと欲する所以なり

産業の開發は交通運輸機關の普及完成に待たざるべからず鐵道は既に京城を中心として主要の都市港灣に聯絡し今や咸鏡線の敷設と京釜線の改良工事とに從事しつゝあり爾後財政の許す範圍に於て國防並經濟上最も有利なる線路を敷設すると共に既成線及び諸設備の改良を行ひ以て之が完成を期せむとす海陸を聯絡する港灣の改築は既定の計畫を承けて工事の完成を圖り遞信機關は世運の進展に伴ひ逐次擴張するの方針を執り道路の修築に至りては第一期修築事業に次ぎて第二期事業を實施せむとす而して此等交通運輸諸機關の效果は其の利用如何に繫るが故に各位は當局と協力して地方民の誘導開發に努力すべし産業交通の發展に伴ひ商工業は漸く面目を革め各種事業勃興の勢頗る著なるものあり殊に歐洲戰亂の影響を受け滿蒙支那露領亞細亞に對する販賣擴張の機運を促進せるが如きは注目するに値す隨て貿易額頓に伸展し大正五年輸移出入總額約一億五千萬圓を算し之を併合當時の六千餘萬圓に比すれば實に二倍半に相當せり貿易は內部開發の標識なるを以て各位は毎に其趨勢に鑑み有益にして堅實なる事業を奬勵し內は國富の充實を圖り外は輸出の增進を企畫せざるべからず

財政獨立の計畫を確立せしより以來新税を設け税率を增して財源を求め又屢々財政及び行政の整理を斷行して政費の膨脹を避くると共に半島開發に必須なる費目を增加し以て財政の基礎を鞏固にし逐年歲出入の健全なる發達を見るは實に欣ぶべき事なりとす將來益々民力の涵養に努め更に適當の方策を求めて的確に財政獨立の實を收むることを期せむとす

地方行政の振否は國政に至大の關係を有す始政以來道、府、郡、島及び面行政は基礎既に成り地方費及び臨時恩賜金の事業も亦著々進捗しつゝありと雖も皆是れ舊時に比して僅に一歩を進めたるに過ぎず而して多年の懸案たる面制度及び水利組合制度は近く之を制定改正せむとす各位は益々事務の整善を期し節約を主として冗費を省き既往の實驗に鑑み地方の情狀に照し施設按排其の宜を制せむことを期すべし

敎育の主義綱領は朝鮮敎育令に明にして其の施設亦逐次完備の域に向ひ一般敎育に從事するもの漸く本府の方針を了得し孜孜として改善を圖るに至る今一層督勵を要すべきは之が內容の充實にして正に是れ敎育の重要時期に遭遇せるものと謂ふべし各位は學校の視察を嚴密にし敎員の品位を高め研究の精神を鼓舞し所期の目的を貫徹するに遺憾なきを期すべし

今や半島の民心平穩に歸し新政の恩澤日に月に光被するを見る然れども頑冥にして時勢を解せず殊に新敎育を受けたる青年子弟にして無稽の言動を弄して社會の秩序を紊亂するもの尠からず又權利思想の發達に伴ひ紛擾事件を惹起すること往々にしてあり今にして之が禁壓に力めずば其の害毒の及ぶ所寒心に堪へざるものあらむ又青年子女の間に虛榮に耽り身を誤る者なきにあらず過渡時代に於ては奢侈の風習を生じ易しと雖も一たび之に染まむか風俗の頽敗を招き至らむ是最も恐るべき所なり各位は民情を幾微に察し禍根を未萌に芟り適當なる方法の下に此等の弊事を一掃し勤儉力行の域に達せしめむことを期すべし

道長官の職責たる極めて重くして其の事務は道民の利害に至大の影響あるを以て各位は毎に民風の歸趨を稽へ時運の推移を察し百般の施設能く機宜を得るを要す而して道廳の事務は司法警務其の他地方官憲と相待つもの多きに依り務めて交誼を敦睦にして意思を疏通し事務を聯絡し各官廳の間苟くも支吾を生ぜしむることあるべからず就中警務官憲とは其の交渉最も多きを以て協心戮力緩急相應じ必要なる場合に在りては之を指示し以て所期の效果を舉げむことに努むべし

三黨首各個會見の申込

寺內首相は當初三黨首に對し同時に會見を求むる心算なりしが其の後彼我の間に差異を生じたる事情あり十四日に至り大島陸相は三黨首領を歷訪し今回の會見は元來相談の爲めの會見に非らず政府の所思を報告するを目的とするものなるを以て三黨首同時に會合を闘ふの理由なしとの理由に依り加藤子は十五日午前十時より原氏は同日午後二時より犬養氏は同日午後四時より各別に首相官邸にて首相と會見されたしとの案內を申込みたり(東京特電)

聯合軍統一計畫

巴里來電=佛國議會の戰時委員會は聯合國間に共通の總參謀本部を設置せん事を主張し且聯合國の各參謀本部の承諾の下に總司令官を任命し必要の場合に各國の軍隊を統一せしむる樣佛國軍事當局者に勸說するの建議を爲せり(紐育電報)

伊戰闘艦紅海に沈む

羅馬來電=公報に曰く戰鬪艦レギナ、マルゲリタ號は十二月十一日夜紅海に於て二個の機械水雷に觸れ數分間にして沈沒せり全乘組員九百四十五名中漸く二百七十名を救助せり行衞不明者の中には艦長及び士官十四名あり(紐育電報)

英新公債募集好況

英國政府の新公債募集頗る好況なり(紐育電報)

小宮李王職次官の辭職

李王職次官 小宮三保松
十五日附を以て左の如く辭令ありたり(東京特電)
依願免本官

山縣元帥訪客

大島陸相及び上原參謀總長は十四日夜山縣公を訪問し長時間何事か凝坐凝議の上退出せり(東京電報)

日露無線電信

浦鹽港と能登との間に無線電信を設置すべく日露當局間に交渉進行中なり(東京電報)

日露貿易振興企畫

日露協會にては日露貿易の刷新振興を企畫中なり(東京電報)

三名士釜山通過

工學博士大塚要代議士小川平吉の兩氏は十四日夜高麗丸にて秋山參事官は十五日朝對馬丸にて釜山發內地に向へり(釜山特電)

支那將來の煙草戰

支那人の對抗的計畫

支那に於ける紙卷煙草は英米トラストを巨魁とし之れに次ぐは我東亞煙草會社にて前者は南方を後者は主として東北方を其勢力圈として相對峙せり而して之れに對する支那側に於ては僅に南洋兄弟公司あるのみにて勢力固より外煙に當る能はざるの情勢に在るより近來支那人及び洋人等は之れを慨し英米トラスト及び我東亞煙草に對戰す可く已に上海に於て資本千萬と稱する花旗煙公司を設立して盛んに各種煙草を製出しつゝあるが此他純支那人の計畫に成る者には浙江煙草公司、中華煙草公司等頻起し而して又支那政府に於ては自ら大規模の製煙工廠を創設せんとし目下農商部に於て審議中にて其實行の遲速はあらんも兎に角支那に於ける內外煙草戰は今後目覺しき者あるべしと云々(北京)

道長官會議(第一日)

臨時各道長官會議第一日は十五日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、各道長官は素より長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官局長課長其の他の高等官、所屬官署の長等列席し別項記載の如く長谷川總督の訓示ありて後道長官の管內狀況報告に入り午前は京畿、忠淸南北三道の報告を了りて休憩午後一時再開日程の通り各道の狀況報告ありて三時三十分閉會したり

道長官宿所

臨時道長官會議の爲め入京中なる各道長官の宿所左の如し

道名	道長官	宿所
京畿道	松永武吉	永樂町官舍
忠淸北道	柳赫魯	京城仁寺洞二五六
忠淸南道	上林敬次郎	本町二山本旅館
全羅北道	李軫鎬	本町二御成旅館
全羅南道	宮木又七	南山町天眞樓
慶尙北道	鈴木隆	本町二巴城館
慶尙南道	佐々木藤太郎	南山町天眞樓
黃海道	趙羲聞	旭町二不知火旅館
平安南道	工藤英一	本町二御成旅館
平安北道	藤川利三郎	旭町一一九四官舍
江原道	李圭完	本町二山本旅館
咸鏡南道	中野有光	本町二山本旅館
咸鏡北道	桑原八司	本町二巴城館

荒井長官發期

度支部長官荒井賢太郎氏は內務省所管事務政府委員として不破事務官、松島屬を隨へ十六日午前八時三十分南大門發汽車にて東上の事となれり

石塚總裁東上期

石塚東拓總裁は十六日朝發東上の筈なりしも都合により同夜若くば十七日朝南大門發列車に搭乘すべし尙ほ隨員は淸水參事なり

撫順炭供給絕ゆ
大山坑爆發影響

撫順炭坑大山坑に於ける瓦斯爆發以來炭坑當務者は其の善後策に全力を舉げ混雜の極を呈しつゝあると出炭の大減少とにより撫順炭の入鮮激減せりとの事なるが右に付き滿鐵京城出張員は曰く目下撫順炭の朝鮮移出は二百噸內外にて僅に本社が直接供給契約を締結せるもののみ其他一般の需要には全く應ずる能はざる現狀にあり此の狀勢の何日迄繼續するかは目下の所確言し難きも炭坑事務所よりの通報に依れば大山坑の火災尙ほ終熄せず坑內には危險にして入る能はざる爲め被害の狀況を知り難きも鎭火の暁確かとなれば決死隊を組織して坑內の被害狀況を取調べ若し火災が全坑に及ばず局部のみなれば多分三週間位にて復舊の見込なりと云々とあり結局爆發善後の處分一段落つく迄は止むを得ず一般供給炭は全然入鮮不能若しくば大減少(從來二百噸)の外なかるべしと

露國輸入禁止
品名の發表と除外例

昨年十一月十日露國の緊急勅令にて發表したる奢侈品の輸入禁止(但し諸官署の輸入し又は國家の必要なりと認められたる物品は輸入差支へなし)は其の品名を舊臘十二月二十日附發表愈々來る二月十四日より實施の事となり其の品目は十五日總督府官報に掲載されたるが品名頗る多數に上り居れり但し其內朝鮮産の石刀柏、花甘藍、甘藍、西瓜、甜瓜、木實及び豌豆、萵苣、菠薐、蜜柑、蜜柑の皮、葡萄の各品は沿黑龍江總督管內及び後貝加爾州に限り從前通り輸入差支へなく又椿油は沿黑龍江州に限り輸入を許さるゝ由

取引所問題
十五日出願す

京城の實業家十六名により計畫されたる資本金五十萬圓の米豆株式取引所は愈十五日の正午釘本藤次郎、天日常次郎の兩氏相携へて京城府を訪ひ願書の進達方を依賴する所ありたり尙ほ別に取引所設立の趣意書數百通を謄寫に附し銀行會社、新聞通信社等へ送附せし由

鮮銀總裁披露宴

既報の如く朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は十三日午後七時より平壤大同館に於て就任披露宴を催したるが來賓は平壤在住重なる官民七十餘名に及びさしもに廣き大同館の大廣間も紋付袴の人フロックの人正服姿の官吏軍人にて滿ち充ちたり開宴に先ち美濃部總裁は叮嚀なる就任の挨拶を述べ終るや島山覆審法院長は來賓一同を代表して謝辭を述べ開宴頗る盛會なりき(平壤)

平壤昨今米價

平壤に於ける昨今の米價は上白米一四圓五〇錢並白一四圓三〇錢玄米上格一一圓七〇錢下格一一圓二〇錢同乙米一一圓にして現今平壤在庫品は約五千石乃至三四萬石なりと云ふ米價は今や小康を保ち居るも二月に入りて多少上向きの氣配ありて商取引は尠なく買出隨つて手控氣味なるが如く原因は昨冬獨逸の講和提議により約一圓方の暴落を來たせると今期難局の模樣推測し難きことによるものなりと(平壤)

商議役員會と總會

京城商業會議所にては十六日午後二時より役員會を開き大正六年度豫算につき協議する筈にて引續き來る二十一日總會を召集して議事を開くべしと

全州農銀總會期

全州農工銀行にては來る二十日同行に於て大正五年度後半期株主總會を開き決算並に配當案を附議する由

阿峴里屠場開場

京城府の阿峴里屠場は京城に於て消費さる牛肉數量が硯底洞屠場の屠殺肉のみによりて需要を充たさるゝため一時屠殺作業を休止し居たるが目下舊曆の正月前にして鮮人側の需要著しく增加すべきにより來る十八日より屠殺を開始することゝなれり

札幌伊藤組の引揚

札幌伊藤組伊藤組太郎氏は突然引揚げを發表したるを以て同店支配人たりし金子森山兩氏の爲め十三日夕京龍重なる同業者、材木商の知己三十六名淸華亭に招き送別の宴を開き近來に無き盛會なりしと

仁川

▲愛婦年始會 愛國婦人會仁川委員部及び篤志看護婦人會仁川支會にては年始會を兼ね前委員長兼支會長久水夫人新同上楠野夫人の送迎會を十四日午後零時より仁川ホテル樓上に於て催したり顧原夫人發起人を代表して挨拶を述べ次に新舊委員長兼支會長の謝辭ありて廣瀨病院長並に楠野府尹の主婦の心得に就き一場の講話あり終つて食堂開始餘興として鶴島、高木、河野三氏の長唄與田、河野兩令孃の琴井上醫師の琵琶堀、鎌田、小野三夫人の琴三味の合奏等あり午後五時盛會裡に散會したり▲支會長へ時計下賜 前篤志看護婦仁川支會長久水和歌子女史に對し今回鍋島同會長より院宮妃總裁殿下の御思召に依り支會長として會務に盡力せし功勞表彰の爲め懷中時計一個賜與の御沙汰ありたり▲久水委員長へ銀香爐 日本赤十字社仁川委員部前委員長久水三郎氏に對し同委員部より在職中の功勞に對し謝意を表すべく銀香爐一個を贈呈するに決せり

元山より
鬼十生

◆雪と明太魚が名物の元山港は舊臘以來降雪殆んど地に影を止めざるも明太魚は沿岸一帶稀有の豐漁にて船便毎に數千駄宛の入荷あり引續き好調を呈し居候

◆降雪は尠きも寒氣は例年以上にして港內に流氷を見受け候、晴れたる朝、金比羅山に登りて瞰瞰すれば永興灣の紺碧の海は疊を敷けるが如く、麗島、高島その他の島嶼は盤青を盛れる盆石を見る如き心地いたし候

◆今年は寒氣酷しき爲め明太漁は頗る好況の由に候へ共其他の漁業は餘り振はず、元山名物の氷魚は昨今ポツ〳〵市中に現はれ居候、この氷魚は二三年前迄殆んど內地人の需要なかりしも近來佃煮として可成の賣行有之候

◆築港工事は大分進捗の模樣にて近來囚人を使役し赤田川より工事用の砂利を採取中に候、何分寒氣酷しき事とて採取作業の成績良しからず、作業中止勝の由に候

平壤

▲美濃部總裁出發 朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は十四日午後三時平壤驛發列車にて隨員二名と共に安東縣に向ひたるが平壤驛頭には平壤重なる官民數十名の見送りありたり▲大橋會頭の東上 平壤商業會議所會頭大橋恒藏氏は所用を帶び一月十五日午後一時二十七分平壤驛發列車にて東上せり

咸興

▲咸電成立準備 咸興電燈株式會社は成立準備の爲め咸興に於て株式の募集を締切り豫定の如く本月十日より十五日に亙り第一回の拂込みを終ると共に直ちに株式登記を爲す一方建物其他諸般の準備に着手すべしと▲咸南豫算編成期 咸鏡南道に於ては大正六年度豫算に就き目下頻りに材料の考究中なるも未だ特種豫算として計上せるものなきより見れば多分大體に於て前年度の款項目を踏襲したる上二月中旬頃全部の編成を見るに至る筈なりと▲咸南開業醫師數 咸南道內の醫師數最近の調査を見るに朝鮮總督府の免許醫內地人五名鮮人十四名外國人二名內務大臣の免許醫內地人三十一名にして此外入齒營業者は內地人七名に達せり

元山

▲築榮會新年宴會 元山築榮會は十五日午後六時より例會を兼ね丸芳樓に於て新年宴會を催せり▲幼稚園保育開始 元山幼稚園にては嚴冬の爲め休暇日數を延長し居たりしが愈々十五日より保育を開始するに至れり

大邱

▲穀物檢査成績 慶尙北道穀物移出穀物改良組合に於て昨年十二月下旬檢査したる米豆數量は玄米にては大邱外七箇所にて檢査の結果優等四百三十八叺、上格一萬一千八百叺にして大豆は優等一萬三千四十六叺、上格廿一萬九千五百六十二叺、下格十六萬七千二百九叺なりと▲筵製造普及 慶尙北道にては筵製造を農家に對して奬勵しつゝありしが大正五年三月より同年九月下旬までの調製高は朝鮮筵百十七萬二千五百九十五枚內地筵三十五萬九千三十八枚にして之を各農家に割當つれば四枚八分の割合なれば本道にては五枚以上を備へしめんとし昨年來極力筵製造の普及發達を計り居れり▲東部品評會開期 慶尙北道の重物産品評會は昨秋より開催せられしが東部の開催地浦項はコレラ病發生の爲延期となり居りしが三月一日より五日間開催に決定▲金久保旅團長檢閱 大邱步兵第四十旅團長金久保氏は二十一日より一週間の豫定にて稻城高級副官隨行にて尙州、晋州、馬山の各守備隊檢閱の爲め出張すべし▲吉松一部長出張 慶北第一部長吉松憲郎氏は迎日郡浦項方面の漁業狀況視察の爲め高橋道水産技手を隨へ浦項に出張せり

永川

▲松毛蟲驅除 永川郡廳にては冬期を利用し奬勵費を支出し松毛蟲驅除を勵行し成績良好にて目下永川面より著手しつゝあり

浦項

▲港灣期成同盟會 先月來の時化の爲め再び川口船舶不通となり根本的設備の要あるを以て浦項有志は九日午後二時稻田旅館に集合し港灣期成同盟會の再興を圖り大內、中谷、福島、光永、大上、增野、渡邊、篠崎、田中、鄭善根の諸氏評議員に舉げられ總督府に請願する所あらんとす其要旨は總督府の港灣調査に係る方針により河口防沙工事並に海陸連絡設備の施設を急速着手せられたき事目下の狀態に對しては應急施設として道廳より千圓の補助(決定濟)を受け一方當地方民より若干の醵金をなし河口の浚渫をなす事等にして中谷、福島、光永氏上京陳情委員となり中谷氏十日先發他二氏は十四日總督府に向て出發せり

盈德

近來の寒氣の爲め江口港の五十川口全部氷結し石油發動船漁船數十艘出漁不能の狀態に陷り其地有志は本港の休戚に關する問題なるを以て盈德郡廳に交渉し更に道廳に申請し是が救助開通策を講じつゝあり▲郵便所新設計畫 江口港の發展に連れ郵便所設置の要あるを以て去る十日釜山郵便局庶務係長、吉羽盈德郡書記、盈德郵便局長同行實地視察する所ありたるが愈々來年度より開設する事に內定せりと

木浦

▲府協議會 本年初協議會は十五日午後一時府廳樓上に於て開催寄附採納の件貧困者に對する府稅減額の件使用料率低減の報告ある筈▲學校組合會 別項府協議會終了後午後三時より組合會開催貸料高等女學校學則等其他を附議すべし▲府尹新年宴會 既報の如く橋本府尹は別項各初會議終了後午後六時各議員及び記者團を東雲樓に招待し新年宴を開催すべし

人事消息

▲岡本至德氏(咸興地方法院檢事正) 十五日午後入京不知火へ
▲森安連吉氏(醫學博士) 十五日午後水原へ
▲馬永發氏(元山駐在支那領事) 十五日午後歸任
▲不破榮重氏(總督府事務官) 十六日朝東上

新年偶成　宮路宗海
世事老來百念空。且欣學道到無功。晴軒坐久旋催睡。不覺金經落手中。

失題　無佛陳人
以侠待勞夷伺夷。可憐羽勢獨乘時。江南半壁文何處。千古厓山風雨悲。

慘たり筑波

僅々十五分、艦影空し

十五日朝まで百五十二名行衛不明
艦長以下將校概ね無事也
原因、火藥の自然變質乎

十四日午後三時十五分橫須賀軍港第二區に碇泊中なる軍艦筑波の火藥庫轟然大音響と共に爆發し其の非常なる震動は上甲板にありし乘組員殆んど全部を

■海中に鞠の如く跳飛ばしたると同時に爆煙濛々約百米突の天に沖したるよと見る間に三分間にして同艦は約三十度に傾斜して艦體の前半を沈沒せるが同三時三十分に至り終に殆んど全部沈沒し僅かに後部甲板約一丈餘を海上に現せるのみとなれるが大檣の挫折せるを見ても其の破壞の大なりしを察知するに難からず當日は

■恰も日曜日に相當し六百餘名の乘組員に半舷上陸を許され居たりしかば爆發の當時艦內に殘留せしは約三百四十名にして將校は後部士官室にありしを以て艦長海軍大佐有馬純位氏以下皆無事なるを得たるが獨り海軍中尉谷口謙一氏のみは甲板にありし爲め大火傷を蒙れり此の大椿事起るや港內に碇泊中なりし軍艦河內生駒其他の各艦は

■直ちにランチカッター等を出して徹宵救助に努めたるが十五日朝迄に猶百五十二名の行衛不明者あり原因は未だ不明なるも當日は日曜日なりしを以て火藥庫を開扉せざるは勿論なれば多分曩に臺灣沖にて爆沈せる軍艦松島と同樣火藥の變質より生せし自然の爆發に非ざるかと某將校は語れり（東京特電）

▲不忠の責輕からず

ご有馬艦長恐懼して語つて曰く

遭難當時艦內にありし有馬筑波艦長は匆忙裡に謹嚴なる態度にて語つて曰く「陛下の艦を沈めたる不忠の責輕からず余は此日恰も艦橋にありしが大爆音と共に非常なる激動を感じたるを以て直覺的に火藥庫の爆發と其れに依つて艦に大なる穴を穿たれし事を知り直ちに防火隊の活動を命じたるが其の準備中僅かに一分間許りにして沈沒したるは返す〲も殘念なり御眞影は恙なく鎭守府に移還し奉れり」云々と（東京特電）

□御慰問

畏き邊にては向井侍從武官を橫須賀に御差遣相成り難有き慰問の聖旨を傳達せしめらる猶同武官は聖旨傳達後有馬艦長を招き爆發當時の狀況を具さに聽取し十五日は親しく爆沈の現狀を檢分の上復命せり（東京特電）

▲惜む可し、光榮の思出多き軍艦筑波

屢々お召艦に選ばせられた
—總督附武官海軍少將釜屋六郎氏談—

軍艦筑波の椿事に就てはまだ詳細の電報に接して居らぬから何んとも話す事が能きぬが兎に角我海軍の爲めに遺憾に堪へない次第である、筑波は目下海軍

▽砲術學校の 練習艦に成つて居るが爆發の際に練習生が乘つて居つたか何うかと云ふ事は分らぬ新聞の電報に因ると死傷の數が甚だ多い模樣であるが爆發した火藥庫が艦尾である故に乘組員の多くは艦首の方に居るのと時間が夜でないから死傷は餘り多からぬ事と思ふ、又さう有り度いものだと祈つて居る次第である

▽爆發の時刻 は午後三時十五分であるから恰度事業を終つて跡片付けの頃であるから今少し遲ければそれ〲上陸を爲から死傷者もまだ少つた事と思ふ筑波は伊吹鞍馬生駒と同型の姉妹艦であるが此の內最も早く明治三十八年に進水したもので我海軍が日露戰爭の經驗に由つて呉に於て建造し船脚の速い

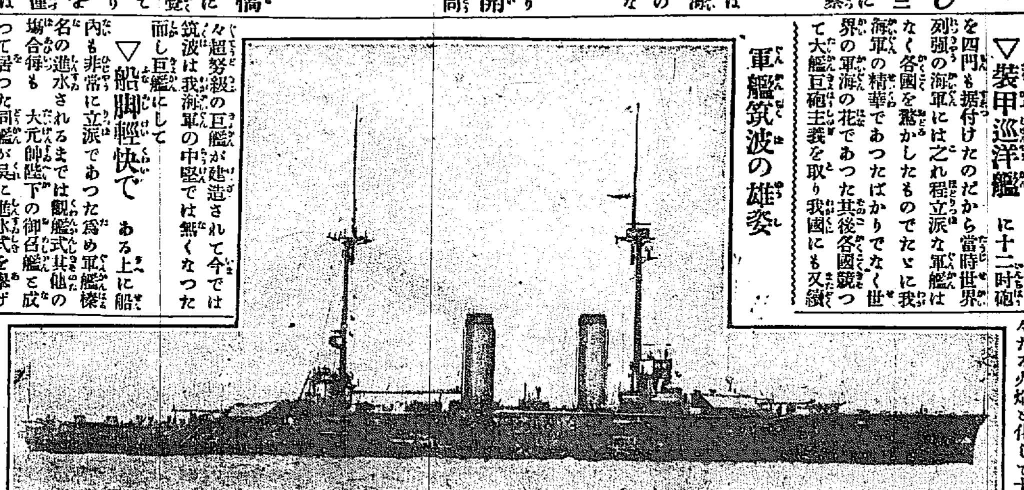
▽裝甲巡洋艦 に十二吋砲を四門も据付けたのだから當時世界列强の海軍には之れ程立派な軍艦はなく各國を驚かしたものでたゞに我海軍の精華であつたばかりでなく世界の軍海の花であつた其後各國競つて大艦巨砲主義を取り我國にも又續々超弩級の巨艦が建造されて今では筑波は我海軍の中堅では無くなつたが而し巨艦にして

▽船脚輕快で ある上に船內も非常に立派であつた爲め軍艦榛名の進水されるまでは觀艦式其他の場合每も大元帥陛下の御召艦と成つて居つた同艦が呉に進水式を擧げて間もなく伊集院大將を乘せて英國を訪問し當時英國海軍を始め上下擧つて同艦を歡迎し實に世界海軍の華であると

▽嘆賞した事 があつた有馬艦長は學校時代から知つて居る人であるだけに非常に心配して居る

●雄基警察署の吹雪攻め

咸北雄基地方にては舊臘二十五日以來氣溫降下し二十六日は零下二十三度を示し大吹雪の爲め草葺屋根を剝がれたるもの尠なからず雄基警察署の如きは戶の隙より吹き込みたる雪が室內に八寸も積りたりと



軍艦筑波の雄姿

●火炎の渦に捲かれて

非常汽笛の中に騷然雜然—撫順慘事後報

轟然たる爆聲、撫順全市の電燈消ゆ

十一日午後十時四十分頃轟然たる爆聲と共に天地は鳴動し撫順全市の電燈之が爲め一時滅火したり素破何事ぞと人々皆耳目を欹てる中に大山坑々內瓦斯の爆發と判明し直ちに之に向つて驅け付けたるが初めの程は黑煙濛々として坑口より地上に奔騰し附近一帶に

▲砂石を飛散 せしめ忽ち炎々たる火焰と化して十丈の紅焰天を甜め物凄き光景を呈せり、炭坑は汽笛を鳴らして非常を報じ從事員全部及警察守備隊消防等出動して各所の警戒に任じ百方救護の道を講ずるも突嗟の變事にて勃發と同時に坑內の消息杜絕し火勢急速に內部を吹き捲くり坑內從業者は進退度を失ひ猛火の中に彷徨ふも外部よりは手の下し樣なく悲慘凄愴言語に絕せり坑內は火の迸出せる下風口即ち西半部最も

▲激烈を極め 上風口側の東半部は稍や緩和なるものゝ如く此方面に從事せし一部の者は注砂に及び坑道を傳はりて歸來せし者百三十七名ありたるも當夜の從業者は日本人十九名採炭苦力五百五十名小把頭十名臨時苦力百十二坑外雜役三百五十三名その外居殘り連勤者等ありて生死不明日本人十七名支那人九百八十名あり邦人氏名左の如し

坑內小頭 成知職吉　同 磯部虎吉　同 川野政善　同 菅六三郎　同 齋藤作兵衛　同 山本俵平　運轉工 木部吉彥　同 吉浦仲叔　同 田中泰助
同 松川源太郎　同 瀨上幸次郎　同 田代熊平　支柱夫 松本重太郎　同 井の口大二郎　樺取夫 猪の口彥太郎　同 松山文一郎　雜役夫 松本承太郎

▲假封鎖を了 したるも下風口は同夜一時ごろ上風口は午前三時半頃迄火焰坑口より迸出し勢ひ猛烈にして近づく能はず火力の漸く衰へるを待つて閉鎖に取かゝり十二日午後五時ごろ兩口共に確實に密閉を終れりされど全部の火氣消滅する迄には尙數箇月を要すべく內部鎭靜に歸すると同坑は自然廢滅を免れざるべしと今回の事變は實に撫順炭坑空前の大椿事にて田島坑務課長其他各坑主任等額を鳩め凝議せるも爆發の原因何れにありや殆んど想像の外にて學理も經驗も及ばざる異例の出來事にて一大研究問題なりと云ふ（大連特信）

●大山坑終に廢坑か

直間接に被る一般の影響甚大
坑夫九百餘名終に全く慘死か

大爆發せる撫順大山坑は既に坑口を密閉したるも內部の火氣は數日の後ならでは消滅せざるべく又生死不明なる九百六十餘名は假に其の中に生存者ありとするも目下の所救出すべき途全く無きを以て悉く慘死せるものと認むるの外無し損害は直接損害約五十萬圓なるも間接損害は莫大なる額に上るべし撫順總出炭量の三分の一を出炭し居りたる大山坑は今や此の大慘事と共に全然廢坑となるやも計られず且つ滿鐵貨車數百輛は過日來の寒氣の爲め損傷を被り居り輸送量を制限し居る結果石炭の配給に支障を來し內外各地に多大の需要ある同炭も現在は一日二千噸乃至三千噸の輸送を爲せるに過ぎざるに今又大山坑にして廢坑に歸せんか滿鐵の輸送力復舊するとするも約五千數百噸の石炭の減少を來す譯にて給炭拂底炭價騰貴の折柄之が爲めに被る間接の影響は決して鮮少に非ざるべしと一般に憂慮せられつゝあり猶今回の椿事の爲め支那人坑夫に非常なる恐怖心を起さしめ從業減少の虞れあり右に就き滿鐵にては負傷者の手當其他と共に善後策を講ずべく目下全力を傾注し居れり（大連特電）

●賴母子講の大紛擾

全南光州郡光州面花園町居住同地學校組合管理者松田德次郞(五二)同面須奇屋町居住學校組合書記西田周一(四五)同面北門通酒造業占野幸一(四五)等の組織したる

△光州同志講 と稱する賴母子講は明治四十五年六月の發會にして三名は何れも世話役なるが一箇月十圓乃至廿圓の手當を受け講務を整理する筈なるに占野は大正五年九月の同講母子講の終講期迄に十一口（一口二十圓掛）を落札し一千三百八十九圓餘の掛金不足なるに拘らず講規則に基づき

△落札と同時 に其の擔保物を提供せず他の兩名は其の事實あるを知りながら其儘にて放任し又講員なる原庄之助が大正二年一月に落札して擔保物件を提供の後講金の拂渡しを請求したるに故なく渡さず其他講員が掛金をなさゞる爲め落札者なる益田庄助外十二名に對して拂渡すべき五千六十一圓餘の講金の支出不能となりたる爲め講員間に大紛擾を釀し目下光州警察署に於て三名を取調中

●監獄の裏に大虎

全南光州居住田中某が去る二日光州監獄裏手に虎の現はれたる形跡ありとの噂を耳にし早速五連發のモーゼル銃を執つて驅付けたるも虎は既に去つて雪中に足跡を殘せるより其まゝ足跡を慕ひ行きしに五日目に漸く或る山の岩角に咆吼し居れるを發見したれば直ちに岩影に隱れて續けざまに五發擊つて放てば過たず肩先に命中し一聲高く吼ねて絕命せしかば田中氏は大いに喜び早速人夫四名を雇ひ擔がして歸宅したるが目方約三十貫目長さ九尺餘りなりしと

●漁船行方不明

咸南德源郡縣面斗方里徐成根(三)は自己所有の五十石積み漁船に盧河龍(三)金仁根(三八)徐承哲(三)外三名の船夫等合計七名乘組み新浦地方の沿岸にて明太魚十二馱（價格三百二十四圓）を積込み十二月二十五日同所を出帆したる儘今日迄行衛不明となりたるが多分難破漂流したるものならんと目下沿岸各隊署にては手配搜索中

●米國車輛會社爆發

損害高八百萬圓と稱せらる

米國キングスランド加奈太車輛會社爆發し損害高八百萬圓に達せり（紐育電報）

同上別報——米國キングスランド加奈太車輛會社の爆發は獨探の所爲に非ずやと疑ふべき節あり露國行砲彈數十萬個爆發せるに依れり（紐育電報）

●葬式で頸絞め

平南价川郡北面龍潭里金秉祚(三)は一月二日午後四時頃同里李在慶の葬儀に列し其の葬送途中飮酒酩酊の上一般參列者に惡口をなしたるより同伴中なる同里の崖明伍(三)が之を制止したるより大に憤り一先づ歸宅の上再度立出で葬送中なる明伍を共同墓地より約三丁計りの所に誘致し不意に背後より同氏の頸部を强く絞めて絕息せしめたる際車炳贊なる者驅け來りて遂に殺害の目的を果さゞりしが同人は此程价川憲兵分遣所の手に逮捕さる

●電車の立往生

京城電氣株式會社の五十二號電車が十四日午後十一時二十五分頃南大門通り四丁目を進行中車軸破損して運轉不能となりたるより工夫驅付け現場にて應急修理の上午前一時二十分より運轉せり

●菓子屋の鼠

京城本町一丁目大和軒雇人大阪南區關町四丁目生れ淺野平三(二)は昨年五月三十一日より雇はれ中十二月二十五日取立てたる菓子代金十一圓五十錢を主人に渡さず橫領したるを手初めに同日午後龍山へ餅を運搬し其の代金十三圓二十五錢を受取りたるも途中にて遺失したりとて歸宅せず餅箱をも棄てゝ其儘姿を晦まし其後主家の使ひなりと外二箇所より賣掛代金を騙取したる爲め本町署に引致され取調べの上檢事局へ送らる

灯ともし頃

▲本野外務大臣は吟度百人目で朝鮮に關係の深い勝田大藏大臣は百一人目だと云ふ▲百人目は行き詰りだから餘り緣起がよくないけれど百一人目は新に起る數で勝田氏の前途大に幸福だと此程愛媛縣人の某々氏等は勝田氏の爲めに祝宴を開いたと云ふ▲撫順大山坑の爆發で支那坑夫の黑焦九百人を超ゆるとは戰慄すべき慘事だが支那苦力の死んだ時炭坑で支拂ふ金は一人平均四十圓と云ふ安いものだ▲で假りに今回千人死んだとしても死亡者の弔慰金は四萬圓で事足るわけ滿鐵の痛手は炭坑の損害にあり矣とは奉天歸客の話し

●自殺を企つ 京城竹添町三丁目……昨春四月頃より商業に失敗したる結果多少精神に異狀を來し……口より發火し建物一棟を全燒し午前……

……八十三圓七十三錢最少は九日の七十三人此代百五十四圓五十六錢なりしと云ふ

……十四日午前九時四十分釜山入港高麗丸……

■課題 讀者文藝課題及び募集規定

■募集規程 同形の洋紙一枚每に紙上の雅號又は……▲用紙は端書又は……

天氣 晴れ一時曇（十五日午後六時より十六日午後六時迄）

日出七時三十七分　日沒五時三十九分　滿潮 仁川 午前九時……午後十時……

實用英語夜學會
▲會員募集
一月十六日より每週月、火、木、金午後七時半開始
▲會場 旭町二丁目日本メソヂスト教會內
▲事務所 旭町二丁目三十六番地電話二五六五番

東京藥學會
會員募集 八ケ月卒業
□藥劑師 或は製藥家となり雄飛成功せんと欲せば速に入會せよ此際入會
□藥劑師に非ざれば藥業に從事する資格なし藥業志望者は必ず藥劑師となれ
本會は通學の餘暇なき者に業務の傍ら其目的を遂せしむ特典を供す
藥劑師となる近道は本會講義錄に限る學說最新內容豐富かつ修得容易也
講師 有賀藥學士 神谷藥學士 小島藥學士 稻田藥學士 村山藥學士 大河藥學士 望月藥學士 外專門大家
一見本 會則申込次第進呈
東京神田表猿樂町廿五

開業
質
太平通二丁目五八（慶華園裏）
本多質店

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇一・〇八番

優等清酒
京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話京城 六五四番 振替 六二〇番

寶田石油株式會社代理店
帝國麥酒株式會社代理店
大日本鹽業株式會社代理店
再製鹽製造販賣

合名會社 鈴木商店京城出張所
京城本町三丁目
電話長三二九〇番、長二九二四番
釜山出張所
釜山本町二丁目
電話長七六二番
仁川出張所
仁川本町二丁目
電話長八三番、八五六番

原鹽直輸入販賣
阿里山檜材 朝鮮一手販賣
雜穀賣買

…が發見し折柄巡回中の鍾路署の警官が駈付け協力して救助し應急手當を施しかば危く助かりしが同人は [illegible]

◎温突火事 去十[illegible]大同郡船橋里稻葉組所有の家屋にて同組の煉瓦職工金益換方温突焚 [illegible]

お正月の思ひ出

（九）其頃ははんとに大した騷ぎでした

公使館で 追羽子競爭

公使館時代の京城のお正月、あの頃の盛んな三箇日は今に忘れることが能きませぬ、公使館は今の南山總督官邸にありましたがお正月には

◆藝者が招かれて 年賀のお客様にお屠蘇をすゝめる賑やかさ、あの頃は林公使をはじめ皆樣なかなかのお元氣でございましたことに元旦の前夜大晦日には領事さんから民團長さん軍人方を始め町の有力者の方まで一同公使館にお集りになり晩餐が了りますとそれぞれお得意の隱し藝などが出て藝者も

◆一緒に浮かれた ものでございます、猶亦お邸の裡には羽子板などもありまして羽子板競爭をあそびましたこともありました ホヽヽ!! 其他どんな藝を出したかと申しますと [illegible]

◆お客樣ばかりで 女の藝もよく見て下さるといふありがたさ、すつかり藝者の方でお客樣から征服されたのでございますね（きくや女將の談）

何分公使の仰せでございますか——何分公使樣の前ですから馬鹿騷ぎは致しませぬがまあ漢語で申しますと和氣藹々とか申すありさまでした、また

◆お正月の三箇日 は藝者も旦那方もみんな揃つて醉つ拂ひました、街を俥で走りましても向ふからシルクハットを阿彌陀にかぶつた紳士方が眞赤な顏で『ヤア〳〵萬歳!!』てなお元氣で藝者も赤紅くなりながら萬歳をやつたものです、それに本町通りの街筋でも印判屋の上に銘仙の羽織を引かけた職人さん達が三四人づれによろめきながら車の女を戯言かすといふ春景氣

◆あの頃と只今と では大分世間の氣分が異つて居りました、それに藝者も當時は六七十人ばかり居りましたが芸附けなども至つて簡單なものでお座敷の遊びも朝鮮式でございました、何分その頃は鳥渡内地から來られた方でも皆朝鮮式遊び振りに同化されて温和しいお座敷はなかつたものでございますそれに當今は何れもしんみりした

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手を呈す）

▽俗謠「寒行」

○寒の修業も悟れば何の雪も菩提の花となる（一等）　京城大和町　竹雨生

▲御釋迦さんさへ知らない樣な寒行苦行をする　釜山　朴念人

▲寒行苦行を積む程法の光照りそう庭の梅　海雲臺　蒼人

▲寒の顏に破門の僧の鈴も凍つて解けぬ朝　載寧　柴西　銀波

▲寒で鍛めたあたまなつみ酒の氣げんで寒念佛　京城　國南

（課題及び募集規定は欄外にあり）

●毎朝「君ケ代」を謠つて

樂しく學校へ通ふ南洋占領地の少年

東鄕鎭海灣要港部司令官の歸朝談

臨時南洋防備隊司令官より鎭海灣要港部司令官に榮轉したる海軍中將東鄕吉太郎氏は齋藤南洋トラック島出發汽船第八多聞丸にて歸朝十四日朝

▲門司入港 下の關著午後十時

發東上せり中將の談に曰く占領地南洋諸島に邦人居住するもの四百餘名あり何れも確實なる事業に從事し居れり島民は全部四萬六千餘暖國の常として一般に怠惰なるも早熟にして智識慾に富み進んで事物を研究せんとするの風あり我が司令部にては此の點に留意し教育指導に努め居れり防備隊所在地六箇所及びポナペ、クサイの二個所に小學校其の他

▲邦人の居 住する個所に寺小屋式の學校を設け教育に從事し居れり生徒は約一千名にして年齢は七八歳より廿歳前後にて從來内地の教科書を用ひ來りしも來る四月よりは新に編纂したる新教科書を用ふることゝせり而して其の第一科には日の丸の旗及び 天皇陛下と假名にて書き陛下並に國旗の理解力を深く腦裡に印せしめんことに意を注ぎ居れり毎朝八時學校の附近の小丘に

▲我が國旗 を掲げ生徒を集め君が代の唱歌を合唱せしめ然る後學科に就くを當とす島民は音樂に趣味を有し唱歌の如きも内地の兒童に比し遜色なし云々（門司特電）

●世界探險旅行者 大正通信社特派員松尾末藏氏は世界探險の途次此の程入京したるが氏は五六日京城滯在の上支那各地を經て露國に入りそれより英國亞非利加印度南北米國等を約十四年を費して探査する計畫なりと

◎故三輪會計檢査官追悼會 會計檢査官故三輪一夫氏のため同氏の舊知の人々相集り十五日午後四時半より大和町開教院に於て追悼會を開き終つて淸香園にて晩餐を共にせり

●學生を騙して 百圓紙幣二枚を横領

慶南統營郡統營面生の車元福（二〇）は詐欺前科一犯あり大正四年舊十二月中同面道泉里金養汝方に宿泊中人蔘三斤（十八圓六十錢）を窃取して逃走後大正五年一月より釜山埋立新地雲集旅館事金相龍方に客引として雇はれ中同年九月九日夜投宿したる京城蓬泥洞質商柳禹赫の長男柳孝鄕（一七）が兩親に無斷にて四百數十圓を携へ東京へ遊學の目的にて其の途次なるを知り甘言を以て欺き翌日孝鄕を同伴馬山を經て晉州に至り十數日間滯在し一切の費用を支辨せしめたる上又々釜山へ舞ひ戻り同人の百圓紙幣二枚を小錢に交換し來りやるべしと二百圓受取りたる儘預りたる二十圓をも併せて横領して京城に流れ込み太平町の宿屋蔡福成方に李鎭九と僞名して投宿し五十餘圓を消費したる所を本町警察署の手に捕へられ取調べの上檢事局へ送られたり

●獸醫職に甦る 江原平康郡畜産技手植田貫一氏は客月來感冒に罹り養生傍ら嚴寒を冒して畜産品評會巡回診察等に出張したるが素となり廿八日急性肺炎を併發忽ち重症に陷り本月三日午前八時遂に死去せり依て道廳に於ては同日直に命を以て鐵原金化郡の兩技手を差遣し一面安川渡邊道技手等奔走香華料を募り死亡賜金と共に贈呈し遺族の心を慰めたるが氏は香川縣香川郡出身にして大正四年平康畜産組合設立當時就任し爾來一日の如く勤勉畜産事業の發展に努め部民より篤望されたるは惜むべし當年二十七

●山邊夫人の訃 公證人山邊勇輔氏夫人敏子は昨年來久敷腹膜炎にて靜養中の處藥石其效なく十四日午後二時三十分永樂町一丁目自邸にて逝去せり夫人は大隈重信侯の令姪にて淑德の譽れあり享年五十八歳悼む可し因に葬儀は十六日午後四時自宅出棺永樂町三丁目西本願寺にて執行す可しと

神社とお寺と教會

●京城基督教靑年會（南大門通） 十六日午前十一時より京城電氣會社車掌及び運轉手の集會に對し三浦幹事の修養講話あり

○西本願寺（若草町） 十五日午後七時より開教使人の御遺文講讀あり次で月曜講演[illegible]十六日午後二時より御正當の説教ある由

○曹洞宗別院（若草町） 十七日午後二時より[illegible]

●實用英語夜學會 スミス氏主催同夜學會は來る十六日夜より旭町二丁目新築メソヂスト教會内にて開催の由詳細は該所牧師方（旭町二丁目三十六番地 電話二五六五番）へ照會せらるべし

商況

公債直取引（東京特電）

十五日出來値	
五分利	九四、七〇
五分特別	—
甲号四分	八二、三三〇
一回四分	八三、三三〇
二回四分	九四、六〇〇
甲五分	[illegible]

債券現物特電（東京）

十五日	
東洋拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮殖産	—
南滿鐵道	—

深川在米特電

十五日現在高	
朝鮮米	一〇八、六一五
臺灣米	七五、四三三
内地米	一、五四一、六八七

東京期米特電

十五日前場	
寄付	七、四一〇
高値	七、四二〇
安値	七、四四〇
止め	七、四一〇

大阪株式

銘柄	十三日後場	十四日前場
宇治川水	[illegible]	—
神戸電氣	[illegible]	—
京阪電鐵	[illegible]	—
和歌山電	[illegible]	—
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋紡織	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

十三日後場	寄付	引け
一月限	七九、〇〇〇	七九、〇〇〇
二月限	七九、〇〇〇	七八、〇〇〇
三月限	七八、〇〇〇	七八、八〇〇
四月限	七七、二〇〇	七七、二五〇
五月限	七五、八〇〇	七五、〇〇〇
六月限	七六、〇〇〇	七五、〇〇〇

大阪期米特電

十五日前場	
寄付	一、五八四
中限寄付	一、六一九
先限寄付	一、六七七
止め	—

下關期米特電

十五日前場	
寄付	—
高値	—
安値	—
止め	—

雜報

●石炭愈々拂底 [illegible]

之を選炭し一時的間に合 [illegible]

約一二三圓方の騰貴 [illegible]

●莫大小 [illegible]

英國向品 [illegible]

●の解禁 [illegible] 一割五分位の高値 [illegible]

●安物見切品殆ど [illegible]

●米糠は跡高 [illegible] 那四分臺灣二分支那四分朝鮮四分 [illegible]

二十五圓見當 [illegible] 一二三十錢方入氣を引戻し新規輸入も跡途切れ [illegible]

●鹽價と荷動き [illegible] 仁川に千五百萬斤廣梁灣に約四千萬斤 [illegible]

原鹽値段 [illegible] 再製鹽 [illegible]

●木炭引締まる [illegible] 在荷は極めて拂底 [illegible]

約五錢方騰貴 [illegible] 今後更に十錢内外騰貴は [illegible]

●明太魚好況 [illegible] 好氣配 [illegible] 三十圓以上 [illegible] 生明太は眼先幾分安値を見越され [illegible]

●釜山生鰊初荷 [illegible] 百二十圓乃至百五十圓處 [illegible]

●生鱈好氣配 [illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

△十四日分 [illegible]

仁川現物市場

△十五日分 [illegible]

釜山穀物市場 十二日

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

△十五日前場 大阪天候晴天 前寄十六圓七十七錢と一昨止り十五錢安の入電二節八十錢の移り [illegible]

仁川米豆取引所

十五日の三月限

前場	
寄付	十二圓九十七錢
高値	十二圓二十二錢
安値	十二圓十六錢
出來	二萬七百石

平均値段	
一節	十二圓九十九錢
二節	十三圓二錢
三節	十三圓一錢
四節	十三圓二錢
五節	十三圓一錢

出來高	
一月限	一萬石
二月限	七萬八千五百石
三月限	五萬三千四百五十石

十三日後場 [illegible]

小賣白米

現金賣 一等白米 十五錢五厘 次 白 十五錢

市場零聞

△依然強硬 [illegible]

△反動 [illegible] 稍賣り過ぎ [illegible]

△前場の手振 [illegible]

△(ト)能く賣る [illegible]

△(イ)能く買ふ [illegible]

△今能く賣る [illegible]

△ハ能く賣る [illegible]

△(リ)の商内 [illegible]

△下げ澁ぶる [illegible]

入津は依然結氷の爲め杜絶 [illegible]

買退かん [illegible] 寧ろ安値は小掬的 [illegible] 際丈の強硬 [illegible]

△一口噺「其時々の事に就て」　△下付「大あくび」　△俗謠「頭巾」

●何書何號と明記に限る ●日報編輯局讀者文藝係

△宛名は京城日報

男のひみつ病

◎東京順天堂病院始め博士學士の證明賞讃と全快禮狀頗る多く全國藥品中最高點の優等に當選せる天下唯一の專賣特許手島式眞空療法器と包莖自然療法器は共に最新式醫術的要具にして素人も安全に自宅で秘密に容易に局部に生殖器の短小包皮委縮能力の障害淋病神經衰弱等は頗る外用し得て●生殖器に治るハガキで申込ば非賣品圖入説明書を無代送呈す

（改良特許より遙に劣等の新案特許なるものあり判別を誤る勿れ）

東京市日本橋區本材木町三ノ二　東京療法研究所
大阪市北區北森町一番地　大阪新療法研究所

灘　大塚釀造所吟製

京城本町二丁目　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

鑛山營業

各種礦石買入　重石買入　Ⓚ

京城鍾路二丁目九九番地　金石商會　電話一八九九番

△鑛物定量分析　△鑛山測量製圖

世界各地　有名なる藥店食料品店に販賣

MALT EXTRACT KO BONBONS

理想的榮養　世界的名聲　現代的特色

セキトメ　ボンボン

たんせき氣管病に悩む人 音樂家演說家旅行家等のポッケット中に必ず一罐を用意せら

定價　小（十六粒入）金十錢　中（卅粒入）金廿五錢　大（五十五粒入）金卅錢

內科　胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七九二

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店

京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇二三　振替口座四三九

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行　電話（本店）三三三一、三三三二、一二六〇、一二六一

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸

出張所

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

小資本を以て急速の成功をなし得可き　特約店

一村一名限りの特約組合店皮革大の收入ある二郡獨占支部募集返券入照會次第成功の手引たる營業案內進呈東京神田萬世橋際日本通商聯絡株式會社

東京米穀商品取引所仲買人

東京市日本橋區蠣殼町一ノ二　野瀨久次郎商店

電話浪花（五一二二、五一〇三番）（五一〇〇四、長九二一番）

發信電報略號（シメ）ヌハメ　受信電報略號トウケイシメ　振替貯金口座二二四一〇番

客室　食堂　完備

市内四通八達の場所にして庭園廣く眺望絶佳至つて閑靜の地なり

實合は特に御便利に取計可申候

御蘭西料理調進

京城南大門通三丁目　ファミリーホテル　電話一二二八番

致富之策進呈

大阪堂島米穀取引所仲買人

期米　今延商店

電話 [illegible]

料理店開業御披露

四方の御客樣益々御清福に被爲渉候段慶賀至極に奉存候降而弊店儀嚢にやぐら花壇の名義を以て料理店開業中は一方ならぬ御引立に預り感銘の至りに堪へず然るに都合ありて一時休業仕り大方の高顧に孤負致居候處今回南米倉町舊からす九の跡を引受け相老と改稱し從前より一層の勉強を以て精進料理・湯豆腐・かしわの水炊・會席折詰及び其外御好みに應ずべく候間倍舊の御引立を給り度御禮を兼ね再開業御披露申上候 敬白

京城南米倉町（からす九跡）

相老　電話九〇九番

妻敏子儀病氣之處養生不相叶本月十四日死去候間謹告候也

追而來る十六日午後四時自宅出棺永樂町本派本願寺に於て葬儀執行可致候

山邊勇輔

本會前幹事山邊勇輔氏令夫人病氣の處十四日午後二時逝去せられ明十六日午後四時永樂町本派本願寺に於て葬儀執行可相成候に付此段會員各位に謹告す

大正六年一月十五日

佐賀縣人會

明君道中記

第三十席　田邊南龍口演

家康公は是を聞いて大いにお怒り遊ばし「家『憎んでも飽足ん奴は忠輝、左樣の我儘者を捨置いては諸侯の訓戒が付かん、彼には生涯家康は會はん」と仰せられた、是れが高田へ聞へましたによつて忠輝公も少しく御後悔の氣味、間もなく其年も暮れて元和二年の正月となり駿府に於て家康公御病氣といふ話しを聞きましたから、茲でお詫をする時節と早々駿府へ參つて御機嫌を伺ほふと僅の家來を御伴れなされて越後を御出發府へお出に相成り、臨濟寺といふ名代のお寺がある、御自分の身に暗い處がございますから旅宿を取らずに此の寺にお入り遊ばし、住僧を賴んで家康公へ何うか御病氣の御看護をいたしたい御許しを願ひとうござると哀訴をいたしました、處が家康公のお怒り歇ず更にお肯入れが無い、故に御臨終に御目通りをいたすことが出來ずして臨濟寺に悄然として居る、四月十七日御他界御見送りをいたすことも出來ない、恰で上總介殿は何うなされたかと云つて訪ねて來る人も無い、永く臨濟寺にて居られませんから駿府を立て江戸に立歸つて淺草に御屋敷があるにより、其處にお入り遊ばし芝三緣山增上寺存應和尚といふ此は德川家に由緣のございまする御出家、此の人に賴めば大概詫しは届くだらうと二代公へ謝罪の周旋を願ひ、存應和尚種々秀忠公へお執成しをしたが却々お肯入れがございません、親しき兄弟故我儘勝手を其儘に免して置くとあつては、天下の諸侯を伏させる譯には叶ん、依估贔屓の無いと云ふ潔白を天下の大名共に見せつける手本の手始めに手酷く處分をいたさうと云ふので、乃で土井大炊頭利勝を召され、上總介忠輝不届に付切腹改易といふ、其時土井大炊頭が「上意御光にも存じ奉る、然し大御所樣御他界あらせられ未だ一周忌も相立ち申さず、然るに御連枝上總介殿切腹の儀は如何なものでございませうか、其の罪免れ難きことではありますが城地お召放ちに相成り大名へ生涯お預け遊ばしたがお宜しうございまする」と段々御意見をいたして、愈大名衆へ御預にして預けると云ふことになつたから、さア諸侯方が鄒いた、籤取で厄介者を預つた節には大變だ、是は貧乏籤の始りだらうと諸侯方も大きに弱つた、處が其の籤がとう／＼久岐長門守に當つた、久岐長門守は無據からお受けをいたしました、處で元和の二年七月五日に淺草の屋敷へ御上使として近藤出羽守神尾備前守の兩人が參りまして「此度上總介殿我儘增長いたされ、天下の御法を犯し切腹をも申し付けらるべき處格別の思召を以て當分久岐長門守へお預け申し付る、左樣存じまする樣に」といふ嚴命、一言の申し譯もございません、茲でとう／＼五十五萬石斷絶、千石の賄料を遣はして久岐長門守にお預けとなつたから、伊勢の淺間へ此のお方をお伴れ申して此處に屋敷を造へ萬事は久岐殿がお世話をいたし永く此の伊勢の淺間にお遊ばし、其後信州諏訪へお預替になつて御年九十二歳で臨兇にて御逝去になりました、此の上總介忠輝公のお子樣が勝丸樣と申し、其のお子が與四郎、其お子が德內、忠輝公の玄孫に當つて居ります、是が元祿の四年四月東海道三島の宿の三島明神の神前にて松平若狹守殿を父與四郎の敵と云つて仇討を爲さいました、此の若狹守と仰せらるるは播州明石で五萬石を領して大層暴れ者でございまして、明石の斬捨と云つて名代の殿樣、此の方が道中をするに不禮でもあると斬捨てしまふ、なれど決して公儀より御咎めは無いといふ、是には仔細のあることでございますが、美事に仇討をして後三州上澤で三百石松平傳內と云つて家を興しましたが、是が上總介忠輝公の子孫であります

婦人科 産科 二宮醫院 京城蓬町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一二〇一番

愈々寒さ來れり 冷性で御困りの御方は！ 津村本店の『人參エキス』を 御存知無き御方でしよう 京城本町一 電話一四八〇・振替三五一一 津村兄弟商會本店

一月十七日 九星
舊十二月廿四日 巳未
本命二黑 坤 破 大安

▲二黑 激烈たる事有るも新規見合東方は吉 ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible]

東京小松 ちの道 ●痔疾一切重症の●脫肛●痔瘻●現狀の極妙藥有「ハガキ」にて病原理由自宅治療法の詳細說明書無代進呈す 本家 東京京橋區 小松盛林堂 全國各藥店有 小松痔の藥指命乞ふ

演藝案內

壽座 京城壽町 電話五七八番 一月十六日替り藝題 前 嵐山花五郎 中 老後政岡 切 お染久松藏の場 (お染藏六早變りにて御覧に入候) 階上階下へストーブ五本設備致館內は極々あたゝかです何分御安心の上御來場願上候

御成座 御成町 電話二九一 ●十三日ゟ藝題 ▲一番目 晉れの藝者命 全九幕 ▲二番目喜劇 一二三とう二(カンツリーチーチナ) [illegible]

稻荷座 本町五丁目 十三日の讀物 毎日演者讀物毎日續 ○義烈百傑(竹川一夫)○いかるが平治(竹川九洲男)○[illegible](廣瀬)○梅山大佐(京山光若丸)○柳生旅日記(藤川条森)○吉原百人斬(佐野治良)○名作左甚五郎(竹川馬生)○友派若手花形

大好評の三大寫眞 主家の爲めに家を捨て、名譽を捨て、富貴を捨て、主家の闘場を計りたる近來珍しき 教訓的家庭劇 返り咲き 尾上松之助片岡長正得意の舊劇 箕輪心中 探偵大活劇 夜の世界 朝鮮に於ける日活代理店 ◎大正館

浪花館 明治町 電話二六〇 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

黄金館 早川直營 電話二六三七 [illegible]

本場名仙 一反只の二圓九十五錢 數年間呉服類の破格投賣をなし已に數萬の御得意先を有し手堅に營業なしつゝある東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關口商店が多物見切品の中東京流行節糸織一反タッタ三圓九十五錢新柄高抜本場名仙一反タッタ二圓九十五錢に投げ飛し同業者を驚かせたるさへあるに大見切賣出しの記念として優美高尚なる西京西陣製の珍柄新博多織片側女帶地を前記ドレデモ一反の注文每に一筋づゝの無代進呈をなすと云ふ破天荒の大英斷は流石に同店一流の飛び放れたる壯擧にて到底他店の模倣の出來ぬ事也因に地方の希望者はハガキにて男女別年齡を記し申込は親切に選び送料も實費で送る由

外科 皮膚科 瀬戸醫院 旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔 (電話二四九八番) 診察夜九時まで

質 京城黄金町二丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所 電話六三九番

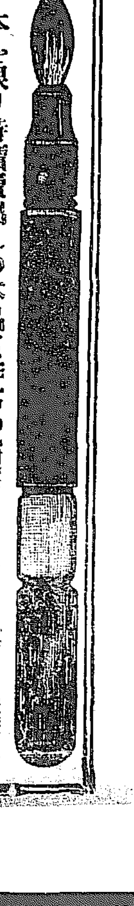
八木田醫學博士御處方 島田藥學博士御鑑査 アナタの胃病には マーゲン 强胃消化錠 本劑の特色 [illegible] 大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

白粉中の白粉、塗けて普通のおしろいとは白さが異ふ ホーカー白粉 肌の生地から美しい白さに塗く外にない美容劑本位の白粉一度お試し下さい 定價一瓶廿五錢 送料內地無料 本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店 (振替東京一五六)

淋病新藥 ツヨール 帝大醫學藥學博士多數實驗の結果理想的治淋劑と確定せる ◎利尻藥舖に販賣 發賣元 東京市日本橋區川瀬石町十一番地 ツヨール商會 代理店 ▲本品は殺菌力强大にして絕對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渇等其他一般急性、慢性、淋病に偉效を奏す 三十粒 五十錢 五十粒 八十錢 百粒 一圓五十錢 廿五瓦 八十錢 ▲說明書無料贈呈す 大阪西道修町 田邊五兵衛

クレームレート アレを止め肌理を整へ色を白くする 美顔術がお簡易に出來る 歐米にも誇るに足る美膚料は……このクレームレートです、些少の脂肪氣をも含ます、可厭な粘氣なく、見るからに氣持よき白色クリームで美容界の重寶、本邦の誇です 香氣の清芳、皮膚を養ふ主成分…… 世にクリームの種類も可成ありますが本品ほど佳快な芳香を持つて、而も地肌を養ひ素顔の美を增す貴重な主成分を含む品はありません お寒さ時には片時離せぬ逸品…… 微溫湯で汚垢を洗つた後本品を少量指先に雅ひて摩擦すれば肌荒の憂ひはムいません

品質第一 誠實第一 賣行第一 キッコーウリ 最上醬油 釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 京城出張所 京城大平通二丁目電話二四五番



タイヨー 萬年毛筆 最に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし ◎京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

汽車時刻 [illegible]

京城日報

一月十六日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金[illegible] 郵稅[illegible]
讀告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

京城日報 巴爾幹戰の價値

講和不調と共に、獨逸は豫期の如く、愈々各戰場に、活動を開始すべきが、東西兩戰線に於ては、既に兩軍共永久的の防禦堅固なるが上に、聯合軍側に、有利の形勢[illegible]、獨逸は[illegible]、活動に便なる[illegible]即ち巴爾幹方面にあるべし。而して聯合軍側に於ても、巴爾幹今後の形勢如何に重大視せられつゝあるかは、聯合軍事會議を、過般羅馬に開會せしに見るも、明瞭なりとす。

巴爾幹に於ける、獨逸の新策戰計畫が、如何なる方法にあるやは、勿論、之を知るを得ざるも、要するに直ちに兵を進めて、サロニカ聯合軍と、決戰を試むるか、又は一氣に、羅馬尼全國を席捲し、南露を侵略しオデッサを陷落せんとするにあるか、或は伊國侵入にあるか、先づ之等の方法中の、一種にあるが如し。然るに今日の同盟軍が、最も容易なる手段としては、差し當り、サロニカ聯合軍に[illegible]有益なるものと見るを當然とすべし。何となれば、希臘が聯合軍に參加しサロニカ軍をして、充分其の活動を自由ならしめ、伊太利に聲援し、土耳古、勃牙利を、其の背後より脅かし、遂に露羅軍に應援せんか、巴爾幹今日の形勢は、直に一變すべく、又た之は聯合軍の、既により、成さんと欲するの、策戰にあるを以て、同盟軍は、之に對應せざるべからざるは、必然たり。殊に巴爾幹が、今後の講和會議上の、彼我の一大爭點たらんとするより見るも、今日に於ける、巴爾幹戰略者が、其の際に於て、最有利の、位置に立つ事も、明なる次第なればなり。況んやサロニカ軍にして、一敗地に塗れんか、聯合軍の、巴爾幹に於ける根據は、根本的破壞せらるゝに、於てをや。されば同盟軍の一部が、既にモナスチールに向て、進軍せりてう報道は、遽に虛報に非ずして、恐らく茲に起因せし、獨逸の策戰なる事は、もとより察するに難からざる也。

由來巴爾幹は、聯合軍に取りては大なる鬼門なり。之れ故に、吾人の危ぶむ所、過去二箇年間の歷史に見よ。其の外交、策戰、何れも、聯合軍に不利なりしは、知る處なり。而して獨、墺軍に屈服せしむる能はざる所以、亦此處に基因せずんば非ず。勃牙利をして、獨逸に與して、起たしめたるは、ガリポリ戰の結果と、懷柔政策の宜を得ざりし爲なり。塞爾維、黑山國の滅亡も、希臘を屈服せしめ得ざりし結果に外ならず。羅馬尼の蹶起は、佛國首相ブリアン氏の、熱烈なる斡旋の結果にして、其の蹶起と共に、聯合國の人心に、至大の反響を與へ、當時の輿論は、全戰局に及ぼす、影響の尠からざるを確信せり。而して世界的戰爭の、終局を速ならしめ、聯合軍の必勝は、最早殆んど、疑を容るゝの、餘地なきものゝ如くに、速斷せられたり。然るに事實は、之に反し、僅に二箇月を出でずして、コンスタンザ、及び首都ブカレストは、容易に同盟軍の、占領する處となれり。而して羅國も亦、塞爾維同樣の、憂目に遭遇せり。斯く思ひ來れば、巴爾幹に於ける、今後の獨逸の策戰と、聯合軍の策應とが、歐洲大戰に、如何に重大なる、關係あるかは、明となり來るべし。

然るに最近、希臘も遂に、聯合國の、最後通牒に對し、其の參加に承諾を與へたるもの丶如きを以て、茲にサロニカ軍も、自由の活動を擅にするを得べく、伊軍亦戰局の促進に努力すべし。されば巴爾幹聯合軍の奮闘と共に、先づ勃牙利、土耳古を威壓、屈服せしめんか、獨墺如何に、頑強なりと雖も、遂に陣門に、兜を脫するや必せり。而して其の時に於てこそ、始めて講和の成立をも見るを得べく、平和の克復敢て難事たるに非ざるべし。要するに、今後の巴爾幹戰が、全戰局に至大なる關係を有するは、勿論なれば、聯合軍は既往に鑑み、善戰、善謀、敵をして乘ずるなからしむると共に、此の重大なる責任が、巴爾幹聯合軍の、双肩に懸れるは、寧ろ聯合軍の名譽にして、又た決して忘るべからざる也。

米國に於けるトラスト
煙草トラストの起源沿革 (2)
一、其沿革と事業經營(二)

▽米國煙草會社　千八百九十年、米國に於ける紙卷煙草全産高の八割五分を占め、最も有力の機械を有し最も卓越せる商標を有する五大會社が、合縱連衡して一團となり、二千五百萬弗の資本を以て『米國煙草株式會社』の組織を遂げたるは、即ち米國煙草トラストの濫觴を成す。然し、此の大合社も未だ直ちに煙草界に獨占的支配權を振ふ能はずして、競爭は依然繼續したり。エリオット式器械が自由に使用せらるゝと共に、米國煙草會社以外の個々獨立せる製造業者は、此の大會社と規模の大小こそあれ、同一の機械生産條件に於て、巧みに奇策を回らしつゝ、競爭場裡に立ち、而してトラストが、群小營業者を壓迫する唯一の武器は、販路市場に於て直接に競爭するの方法ありしのみ。トラストは原料供給の獨占的支配を望みたるも、栽培[illegible]は隨意に且つ容易に[illegible]得らるゝが爲めに實行甚だ困難[illegible]、其他のトラストの如く鐵道運賃の特別待遇に均霑せざりし故、彼は其出發の當初より、競爭上の利便を得ること甚だ少なく、市場競爭の一本調子にて飽くまでも事業統一の目的に向つて進みたり。

▽統一前の激爭　斯くて獨立せる製造業者をして、刀折れ矢竭きらしむるまでには、可なり長き競爭の歲月を閲し、其の競爭は凄慘を極めたり。此期間に於て、最も頑強にトラストに對抗し、流石のトラストをして手古摺らせたるものは、『ナショナル、シガレット、エンド、トバッコ會社』なりき。此會社はトラストに對抗する爲め、其の『アドミラル』煙(二十本入)の小賣値段を五仙と定め、以てトラストの誇とせる『スイート、キャポーラル』煙の十本入五仙と競爭せり。『ナショナル』會社の挑戰に對してトラストは直ちに其の主なる製品を通じ原價卸賣を開始して之に應戰し、茲に激烈なる競爭を演じたるが、『ナショナル』會社の奮闘力戰も、巨資を擁せる優勢のトラストを永く苦しむる能はずして、他の獨立業者と共に漸次競爭の致命傷を負ひ、復た起つ能はざるもの多く、之に反して米國煙草會社は早くも一八九六年には米國に於ける紙卷煙草市場の大部分を自己の權力下に支配するに至れり。此時に於て米國の大煙草工場中、ナショナル會社、ホール會社、コンソリデーテッド會社等有力のものは皆來りてトラストに投せり。一八九八年に於けるトラストの資本金額は七千萬弗に膨脹し、其資本の大部は紙卷以外の板煙草、嚙煙草、刻煙草等の製造販賣方面に投せられたり。

▽合同の新時期　此時は煙草トラストの第二期を劃するものにして、即ち煙草製造の集中時代は之より起る。當時トラストの勢力に吸收せられたる大工場の多くは、紙卷製造以外に或程度まで板、刻等の煙草をも製造し居たるが、トラストの威力が紙卷品の販賣上に支配權を收むると同時に他の製品の販路も亦從て擴張せられたり。トラストは其の主要製品の價格に對し特別割引を斷行し、之が恩惠の下に、卸賣業者をして他製品即ち板、嚙、刻[illegible]類の新製品の取扱に勉勵せしむるの策を執れり。紙卷煙製造事業の有力なるものを其の支配權內に吸收したる

○トラスト(米國煙草會社)は更に進んで板煙草事業の統一を企て、各社を糾合して一八九八年十月資本金七千五百萬弗の大陸煙草會社の組織を成せり。此の新會社創立に際し米國煙草會社は其の板煙草事業に投せる資本を大陸會社の通常株式の三千萬弗と引換へに交付し、以て新會社の支配權を握り、チューク氏は米國、大陸兩社の會長の椅子を占めたり。大陸會社の公告に依れば、同社創立の結果、次の諸會社の所有、權利、商標、名義、資産は新會社の支配下に集中したり。左の如し

- ジョン、フィンツアー兄弟會社(ルイズヴィル)
- ピー、エチ、メーヨー會社(リツチモンド)
- ダニエル、スコツチー會社(デトロイト)
- ピー、ヂー、ゾルグ會社(ミツルタウン)
- ドウモンド會社(セントルイス)
- ゼー、ライト會社(リツチモンド)
- ライト兄弟會社(セントチャーレス)
- ロリラー會社(ニユーヂャーシー)
- 米國煙草會社の板煙事業全部

▽破格の買收　然るに當時米國最大の獨立板煙事業たりしリゲット、マイヤース會社は、其の優勢を恃みて、板煙事業統一計畫の際、トラストの提供せる條件を以て合同するを肯せず、更に有利の條件を固持して敢て讓らざりしを以て、トラストも茲に勘忍の緒を切り、飽くまでも威壓主義を斷行するに決し、即ち自社製品の販賣者に割增金を支給すると同時に、なほ製品の標準價格一割を引下げて市場に賣出し、之れを以て競爭會社の販路を侵蝕し、一擧に之を斃さんことを計畫せり。トラストの策戰に對しリゲット、マイヤースも敢て讓らず、其の製品價格を同樣に切下げ、報復手段を執りたり。兩社の競爭は激烈を極め、遂に大陸會社は敗衄の色あり、トラスト側にも困憊の色あり。而も後即ち一八九九年四月大に讓步して、相當の價格を以てリゲット、マイヤースの買收に辛うじて成功せり。而かも此戰に於てはトラスト側の不利なる丈けリゲット側は勝味に在りき。トラストの支拂ひたる買收金額は千二百五十萬弗の巨額に達し、リゲット、マイヤースの百弗株一株は千三百六十六弗の高價にて買收せられし事となり、當時の人心をして驚倒せしめたり。而して此時大陸會社(トラスト)は他の二會社買收資金を併せて二千五百萬弗の新株を募集せり。

(正誤 前號本文三行目『鋼鐵會社』の誤植又五行目『石油トラストの如く云々』は『石油トラスト及び鋼鐵トラストの如く』と改む)

『大正の青年と帝國の前途』を讀む (十七)

十二月十二日 上海に於て　大谷光瑞

古は師を見る事君父に等し、故に師の命を奉ずるや、恭なり。今は然らず、師を見るや、傭人の如し、故に師の命を受くるや、慢る。青年等多く言ふ、我資を學校に捧ぐ、教習は是に由て俸を受く、我等資を出さざれば、校門を開く能はず、教習逃れずんば餓死せんのみ。然れば我等に由て、彼等は衣食するを得、我等は彼等の恩人なり。然るに我等を服從せしめんとす、何ぞ其不遜なるや。彼等若我意に滿たざれば、解傭せば可なり、何ぞ彼等をして跋扈せしむるの要あらんやと。是れ教師をして、奴婢と等しく感ぜるなり、宜なる哉、其行の不恭なるを。然れども是罪の一半は、教師にあり、今の教師、其多くは學問を賣て衣食す、眞實人智を啓發せんとするに非ず、況や濟世の大業に於てをや。既に學問を以て商品となせり、顧客の來て商品を購する能はず、財を得ず、財を得ざれば、衣食する能はず、故に叩頭拜謝、顧客の歡を失はん事を恐る、是れ今日青年等、教師を侮る主因なりとす。學問は衣食の爲に非ず、然るに上に言ふ如く、勞を厭ひ、安を願ひ、農を嫌ひ、工商を避け、而して坐食せん事を望む、故に學ぶ所を資本として、利財を得んとす。既に彼等の學問に志す、第一歩に於て誤れり。而して迷より、迷に入り、學を卒へて、猶ほ覺めず、昏朦の裡に往來せり。汝に出でたるものは、汝に還る、今就學の青年、又此迷路にあり、他日汝の教師と其歸趣を一にせんのみ。故に云ふ、今日教育の罪は、師弟兩ながら存す、而して師先改めざれば、弟從は是を改めんとするや。師弟兩者のみに非ず、父兄亦其半を負はざるべからず、一切社會亦其半を負はざるべからず、敢て教育當事者のみを責むるに酷にして、他に寬なるべからず。其本を求めば、上に言ふ所謂識者と、商賈の富人の兩種を去るに非ざれば、一般の思想を轉ずる能はず。思想轉ぜざれば、其効を生ずる能はざるなり。故に智者は、其本を拔て、源を塞ぐ、源既に涸つて、其末潤きを求むるは、未だ聞かざるなり。今の世青年最も宗教の信念に乏し、是れ弔すべき事なり。不肖私に宗教宣布の職に在り、而して是の事を知て、猶行ふ能はず、是れ不肖の無能、微力に出る、實に慚愧に堪へず、今爰に懺悔せんとす。其れ宗教は、人類を超越せるものなり、人類相互間に於ては、教育を以て足る、宗教を要せざるなり。然れども更に一歩を進めば、既に教育の範圍を離れ、宗教の境界に入る。今我邦の識者、維新以來多く宗教を崇ばず、以て今日に至る。教育既に盛なりと雖も、宗教終に亡す。不肖宗門佛教以外を知らず、我邦亦佛教を奉ずる者、最多數なるを以て、佛教のみを以て立論す。蓋し不可なきなり。

日報詩壇

丁巳新年口號　篠原湖東

槿域迎春喜鵲鳴。旭旗八道賀新正。休言火酉寒地。滿看惠風隨處生。

評曰 槿域新年之實況。

同上　富澤雲堂

元旦我無虛禮煩。靜親筆硯且傾尊。東窓笑對遠山雪。皎潔玉冠揖曉暾。

評曰 氣韻高潔

訪木田芳洲于元山　富澤雲堂

宦海同游夙識名。樽前親密結詩盟。相逢一笑元山月。偏照交歡盃裏明。

評曰 清淡可想

日報歌壇

京城　鈴木山都子

にほやかに春たちかへれ少女子の羽子の音より春たちかへれ

とも輝けるかな

逝れ我身、わが魂事よろず皆あらたまる此の元朝に

うま酒の血にしみ入りていみじくも新春めきにけるかも我が元朝よ

福壽草輝きて咲けば新春にまさりておのが心ときめく

第二版 [illegible]

下關期米[illegible]

十五日後場 (株式の安移りに[illegible]) [illegible]

▲十五日後場 十七圓十四錢 大阪前止十六圓七十九錢 [illegible]十二錢の入電にて當地當中川米不[illegible]如何

[illegible]

▲㊉能く賣る [illegible]

▲〽能く買ふ [illegible]

▲取組高增加 [illegible]

十五日の三月限 [illegible]

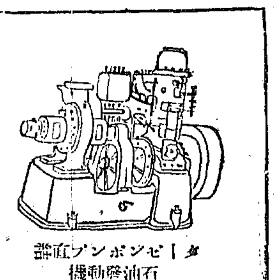
京城府告示第一號
京畿道高陽郡漢芝面新堂里所在京城府新堂里火葬場改築ニ付當分ノ間其使用ヲ停止ス
大正六年一月九日
朝鮮總督府京城府尹 金谷充

最新刊
◎當世百道樂 堀內新泉 一、三〇
◎用家事精義 大江スミ子 二、五〇
◎殖産と石灰問題 田所哲太郎 一、三〇
◎孔子及孔子教 服部宇之吉 一、七〇
◎訓釋本朝名家詩文 岡田、佐久 一、五〇
◎論語講義 三島毅 一、二〇
◎日蓮聖人の孝道 磯野本精 九五
◎大正五人男 村上浪六 一、〇〇
◎安心生活 椎尾辨匡 一、二〇
◎成功の經營 野中忠作 四五
◎新モンロオ主義 厨川白村譯 一、〇〇
◎大正和歌の作り方 米山芳雅 六〇
◎新撰日本書畫名家年表 二五
◎家庭實用 七福神 古事來歷物語 三五
◎懸賞實說 白瓶 小林愛州 一、五〇
◎小說 つきが涙 六〇
◎ペン手書と樂書の書方 八五
◎法律問答 坂上 四〇
京城本町二丁目 振替京城二〇八六番 大阪屋號書店

實用英語夜學會
會員募集
一月十六日より每週月、火、木、金午後七時半開始
▲會場 旭町二丁目日本メソヂスト教會內
▲事務所 旭町二丁目三十六番地 電話二五六五番

四六版全一冊 三百三十頁
愛山山路彌吉著
支那論
定價六十錢 郵稅六錢
最新刊
世界口の四半を有する大國支那の現狀は今如何ぞや。一亂收まりて一亂又生じ、內政の紛糾、外交の危殆、實に名狀すべからざるものあり。支那研究の盛なる又故ありと謂ふ可し。然も本書は、著者最新の一大著作にして、支那の國家及び民人を歷史的に觀察し、之に政治的論評を下したる明快透徹の卓見也。收むる所、過去現在及び將來に關する日支關係論あり、支那人の國家的觀念及び滿漢兩人種の特性並に優劣論あり、更に阿片戰爭以來各種國際的大問題に關する政治史的評論あり、革命の眞相及び傑物袁世凱等に關して、現代支那に關する研究悉く正鵠的確、文章亦活達流暢にして、所論實に評論中最新權威の著作たり。別に『代議政體と支那』又『鄭成功論』を附し、卷首には『與黎元洪書』、卷末には阿片戰爭以後の詳細なる年表を添ふ。今や支那の內治外交愈々多事ならんとす、隣邦我が帝國の使命、我が國民の責務亦重大なりと云ふべし。敢て一卷を江湖の諸賢に薦む。
發行所 東京京橋區日吉町 振替東京一三一〇番 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

東京帝國大學教授文學博士服部宇之吉先生著
孔子及孔子教
菊判總クロース紙函入紙數四百五十頁 定價壹圓七拾錢 送料十二錢
孔子教の眞髓此裡にあり!!
著者服部博士が現代孔子學の泰山北斗として景仰せられつゝあるは世人の熟知する所博士亦自ら深く孔子の徒を以て任ぜられ其の論議講述せらるゝ所皆孔子の究明を以て本旨とせらるゝもの丶如し。本書收むる所の論文十有七篇、凡て是れ博士が會心の研究にして或ひは孔子の人格を論じ孔子の事業を說き、或は孔子教の特質を論じ或は孔子と老墨二子を比較し其他種々の方面より孔子及孔子教を闡明して剩す所なく博士が東京帝國大學に於ける講義の要旨も亦實に本書に盡くといふも敢て過言に非ざるなり。廣くこれを天下の讀書家に薦む。
發兌元 東京神田區小川町 明治出版社

(カタログ進呈)

タービンポンプ直結 石油發動機
品質本位
船舶用 陸用 石油發動機
株式會社 新潟鐵工所東京出張所
東京市麴町區有樂町三丁目五番地
電話新橋(長)九九六・九九七 電略(ニト)

二月號出でたり
幼年の友
仕掛付の表紙 稻荷堂の扉を開けば?
おときばなし 犬公熊公誕生祝の場
▲扇上大會 ▲大あらし ▲狼の喧嘩 ▲手品の種 ▲西洋繪噺 ▲お伽唱歌 ▲幼年科學 ▲雛の懸賞
一冊拾二錢 稅一錢
東京京橋南紺屋町 實業之日本社

◎孫前内務總長拘禁さる

十四日前内務總長孫洪伊氏は拘禁せられたりとの旨發表せられ一般に非常なる公憤を生じ居れり拘禁の原因に關しては種々なる風説流布せられたるが中にも最も盛に傳へらるゝは孫氏主唱の下に當路の大官暗殺團組織せられたるを政府が探知したる爲なりと言へり(北京特電)

◎首相三黨首會見
不日上院各派代表者新聞記者團と會見

寺内首相は十五日永田町官邸に於て午前十時十分憲政會總理加藤高明子と午後三時政友會總裁原敬國民黨總理犬養毅兩氏と會見したり當日官邸には午前九時大島陸相有松法制局長官等の來訪あり當日の三黨首會見に就き準備的打合せを爲し陸相は九時三十五分法制局長官は十時退去したるが引續き九時四十分本野外相來邸し種々打合せを爲す中十時十分加藤憲政會總理は自動車にて來邸寺内首相本野外相と鼎坐會見したり會見の内容に就ては當日は之を公表せざるも仄聞する所に依れば首相及び外相より鄭家屯事件を主とせる對支外交問題に關し今日迄の經過を報告し次で今後の外交方針に就き詳細説明する所ありたるが加藤子よりは別に何等の贊否の言明なかりし由尚三時よりの會見に於ても原、犬養兩氏は加藤子同様何等意見を陳述せず單に聽取するに止めたる模様にて四時退出せり尚首相は兩三日中に貴族院各派代表者并に新聞記者團を官邸に招ぎ同一の報告を爲すべしと(東京特電)

◎新李王職次官任命

小宮李王職次官は豫て辭表提出中の所十五日、勅許と共に左の通り任命ありたり(東京特電)

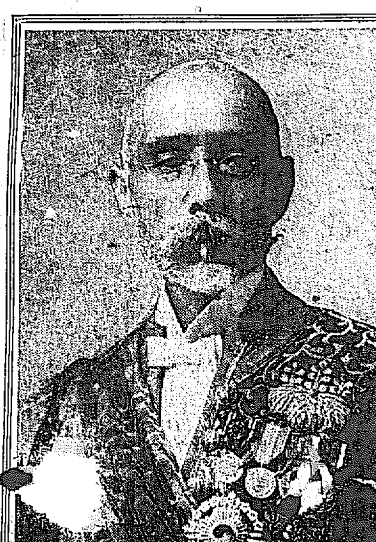
李王職事務官從四位勳二等 國分象太郎
任李王職次官(二等)賜一級俸

◎小宮氏陞叙

李王職次官の任免發表と同時に小宮氏に對し左の御沙汰ありたり(東京特電)

正四位勳一等 小宮三保松
叙從三位
錦鷄間祗候被仰付

新任李王職次官 國分象太郎氏



前李王職次官 小宮三保松氏

◎群山客月經濟
朝鮮銀行群山支店調

……的相場を現出し昂騰に次ぐに昂騰を以つ……の講和問題の飛電入るに及び投機界……す 移出爲替資金の需要少なく寧ろ不……ども本年は穀價……なく平穩無事の裡に赴任するに至り……たり

◎兌換緩和策運動

奉天に於ける邦人の支那ハ幣兌換額は昨年中一日八萬圓に制限協定せるが爾來毎日百萬圓に達し居るより支那六銀行は之を苦痛とし殖邊銀行總裁を代表として北京に派し林公使に之が緩和策を哀願運動中なり(奉天特電)

◎露支新條約
呼倫貝爾に關する

呼倫貝爾は特別行政區域に劃定され該地總管勝福氏は副都統として之れを統轄することゝなれり該地方は元と露國の勢力範圍なるを以て該國政府は支那政府と左の如き有利なる條約を訂結すべし

(一)呼倫貝爾の全部收入は中央政府に送附する關税、鹽税を除くの外は總べて自治經費に充つ可し
(二)露國は呼倫貝爾に領事一人を置く
(三)露國は領事以外に武官一名、兵二百人を該處に駐紮せしむ
(四)露人は呼倫貝爾に於て自由に居住及營業するを得
(五)呼倫貝爾に於て農工其他各項實業を經營するに當り若し資額不足なる時は他國より借款せず必ず先づ露國に向て借款を商議す可し
(六)支那政府は呼倫貝爾地方に事變ある時は軍隊を派遣し討壓するを得るも先づ之れを露國領事に照會し且つ私的露人を保護す可し

◎吉長線貨物 有望

刻下問題の吉長鐵道改約は其草案が支那議會の審査會に附せられたる儘未だ何等決定を見ざるも早晩解決を見る可き模様なるが今回鐵道の貨物運輸狀態を察するに其重要なる者は言ふ迄もなく吉林及び九站の木材を第一とし之に亞ぐは吉林の穀類、麻、豬、薬材及び各驛の穀類なり大正四年の木材發送數は吉林三百二十四車九站五百四十車計八百六十四車約一萬七千二百八十英噸に相當し例年の一千車(二萬噸)に比ぶれば甚だ減少したる様なれども今後大に增加の見込あり又豬、麻、薬材は年に依り著しき差異あるも平年發送數は豬に三千噸、其他の三品約百噸なり次に各驛の穀類は如何にと云ふに大正四年收穫物の長春に發送されし者大約七萬噸なり蓋し昨年は沿線異常の不作なりしを以て平年作は約十萬噸と見るを至當とす可し而して穀類を多額に發送するは卞倫、下九臺の二驛にして其他に至りては微細なる數字に過ぎず斯く吉長線の出貨は今の處驚く可き者なきも愈々鐵道管理の實權我國に歸して改善され一方には今後交通網の變遷、地方經濟的の充實等に由りては該鐵道の出貨の豐多なること瞭目するに足る者ある可しと語る者あり(長春)

◎大阪朝鮮貿易

一月上旬に於ける朝鮮對大阪貿易は米豆を主とする移出品價百六十一萬三千圓移入百二十四萬二千圓にして結局三十七萬一千圓の出超を示したるが之れを前年同期の移出超過百萬八千圓に比すれば六十三萬圓の減少なり

◎補助貨問題
新春に入り漸く緩和す

客臘喧しかりし朝鮮内に於ける補助貨不足の聲は新春に入り緩和されたる形なるが其の理由に付某銀行家の談を聞くに客多に於ける補助貨不足の聲は事實以上に喧しかりし爲め一般に於ては所持の補助貨を容易に手放さゞる傾向を生み一層其の勢ひを甚しくせし模様なりき新春に入り漸く其の聲の縮まれたるは(一)銀券の收縮乃ち須貨の減少(二)商取引越年後若干閑散となり從つて補助貨需要の度の減じたる事(三)審議補助貨約十萬圓の到著並に到著の聲の及ぼせる反響(四)納税のため地方に於て收納せし補助貨を順次市場に放下せし事等を主なる理由とすべし唯銀行券は尚ほ四千三百萬圓臺を維持し而して朝鮮流通の補助貨は尚ほ銀行券三千萬圓臺の時より其の增加の著しからざる爲め大觀して若干の不足は免れ難からんも今後朝鮮經濟界は漸次平調に復し行くを以て補助貨不足の聲は今秋の穀類出廻り期迄は甚しからざるべしと見るを至當とすべしと

◎優良品種普及

朝鮮在來の各種農作物は品質劣等にして且つ收量少きが故に品種の改善は朝鮮の農事改良上最も緊急の事項なり之を以て新政施行以來夙に之が實行を企圖し先づ勸業模範場及び道種苗場をして優良品種の選擇を爲さしむると共に或は模範田又は採取畓田を設置して成る可く多量の優良品種の種付を行ひ或は民間の生産せる優良品種と在來種との種子交換を奬勵し或は農産品評會を開催し優良品種と在來種とを比較對照して普く其の優劣を知らしめ更に進みては優良品種を栽培す可き土地の選定及び其の栽培方法の指導を周到にする等極力優良品種の普及に努めたるに奬勵の當初に於ては少からざる困難ありしが漸次優良品種栽培の利益多きこと農民の自覺する所となり競ふて之が栽培を爲すに至り其の作付面積は年々著しく增加するの趨勢に在り今大正四年に於ける優良品種普及狀況及び其の栽培成績を示せば左の如し

種類	作付反別(町)	優良品種作付反別(町)	總收穫(石)	優良品種收穫高(石)
水稻	一、三三六、九三五	二五九、八二一	一二、一五九、五三三	三、八六八、四三三
陸稻	一四、四二六	一、三二八	九四、四三二	二、八二〇
大麥	四八二、四二六	五、一八三	五、一八二、一〇〇	八六、八二一
小麥	三〇三、七四五	一、六六八	一、三〇〇、五五五	一四、三七五
大豆	四六〇、七三一	四三、四六一	二、七八八、五六一	二六三、〇三三
甘藷	五、四六〇	四、四九一	[illegible]	[illegible]
馬鈴薯	三四、三四四	四、三九九	[illegible]	[illegible]

◎鮮銀券の收縮

一月七日より十三日に至る朝鮮銀行券總發行平均高は四千三百二十萬六千二百六十六圓にして内正貨準備發行平均高一千六百八十六萬一千七百六十五圓保證準備發行平均高二千七百十一萬九千五百零一圓なり而して之れを前週に比すれば二百七十萬四千九百九十一圓の收縮を示し居れり

◎乘車券引換證發行
鐵道局の新施設

鐵道局にては來る二月一日より一般の便宜を圖り乘車券引換證發行の便法を設くる由なるが右は地方人士を招待又は招致する場合に於て最も便利にして從來地方人士を招待又は招致する場合は金券の送付或は乘車券の送付の二途何れにか依るの外なかりしも乘車券は數日後のものを豫め發賣するを許さず又金券送付の方法は不便の點尠からざるを以て今回の新便法を設けられたる次第なり其方法も亦頗る簡單にして其乘車券を送付せんとする人の所在驛に對し人員の多寡に拘はらず相當貨金を支拂ひ引換證の交付を受けて相手方に送付すれば其發驛に於ては右引換證と引換に指定の乘車區間の乘車券を交付するものにして若し使用せざる場合は引換證の請求人より其理由を申出づれば代金の拂戻を受くる事を得るものにして引換證有効期間は卅日なりと

◎京畿神宮奉贊獻金

明治神宮新營に對する朝鮮各道よりの奉贊獻金申込は客年十二月末日を以て締切となせるが今京畿道に於ける獻金申込狀況を聞くに總額三萬零八百四十六圓十九錢五厘に達し入金二萬九千零九十二圓九錢五厘にして未入金は僅に一千七百五十四圓十錢也

◎偕行社建設委員會

立花中將を會長とせる龍山偕行社建設委員會は既報の如く十三日午前第十九師團司令部會議室に於て開催軍及び師團參謀長外各部長主要團長等列席し偕行社を京龍間適當の位置に建設する件に就き協議し結局委員を任命して之に場所選定及び設計其他の件を一任して散會せり右場所並に設計確定の上更に又委員會開催の由

◎秋山大將視察

駐剳軍司令官陸軍大將秋山好古氏は十五日午前九時龍山驛發竹内中佐野津大尉を隨へ永登浦に赴き朝鮮皮革會社の製革狀況を視察し午後歸龍したり

◎立花師團長巡閲

第十九師團長立花中將は既報の如く須田、山崎兩參謀宮地副官等の隨員を隨へ

◎井上少將來鮮

陸軍運輸本部長井上幾太郎少將は不日視察の爲來鮮元山地方に赴く由某所に通報ありたり

◎德永法學博士

早稻田大學教授法學博士德永重康氏は十四日朝入京諸町中川湊氏宅に一泊の上十五日朝發歸東の途に就けり

◎兩主計出張

憲兵隊司令部附宗本主計正及び近藤主計の兩氏は十五日午前八時三十分南大門驛發水原に出張せり

奉天より

▲交渉員案通過 鄭家屯に特派交渉員及び獨立審判廳新設の議ある事前報したるが該案は十一日の參議院討議に附せられ審査委員長より該委員會の意見として遼源は元と狹小なる地方の一縣にて交渉員を置くの必要なし又審檢兩廳の設否如何に至りては本司法に關し本會は之れを主張するを得ずと報告したるが該二案は表決の結果遼源に交渉員を設け道尹をして之れを兼任せしめ又遼源に審檢所を設置する事に多數を以て可決したり因に本案の提出者なる李紹白氏は東省選出議員にして日支交渉案反對運動者の一人なるが本案の參議院通過は李氏等運動の力多きに由るも亦以て鄭家屯事件以來如何に支那人士が東三省に於ける日支交渉及び法權擁護に注意せるかを觀るに足る可し

▲張家口に露領事 露國が張家口に自國領事を新設する事は既報せしが右は已に愈々事實となり駐京露國公使は在東三省自國臣民に對し後露國臣民は何人も同地にて營業するを得る旨を通告せり

▲東鐵汽船の貸附 東淸鐵道會社汽船部は松花江内に汽船二十二隻引船四十隻を有して航業優勢なりし處昨年露商等が松黑兩江汽船聯合會を組織し大同團結の營業を開始せし以何大影響を受くるに到れり該會社は自國民間と競爭するの不利なるを悟り露曆一千九百十七年より其所有船舶一切を汽船聯合會に貸附して露國航業の發達を圖らんとし目下双方商議中にて本年開江より實行さる可し

▲露人の雜居強行 黑龍省同江縣は土地膏腴肥沃にして居民少なく露人は夙に之れに垂涎せるが近頃同國人數名は同縣東關の地に侵入し盛んに家屋を建築中にて縣知事より其退去を迫まるも彼等は南滿は已に日人の雜居を許せり此地に我等來住し能はざるの理由なしとて更に應允の色なく知事は之れに關する指令を省公署に仰げりと

◎總領事挨拶旅行

新任奉天總領事赤塚正助氏は關東都督府及び其他各官衙に就任挨拶の爲め十三日午後八時發旅順に赴き十五日頃歸奉すべし(奉天)

◎電信電話取扱開始

十六日より忠淸南道公州郡新上面石南里の維鳩郵便所に於て電信及び電話通話事務の取扱を開始する由

◎中村局長引籠

中村鮮銀檢查局長は目下扁桃腺炎に罹され自宅靜養中なり

人事消息

▲岡本正夫氏(咸興地方法院長) 十五日夜入京山本旅館へ
▲葛原釜吉氏▲前原盛氏(鎭山技師) 同上朝鮮ホテルへ

南言北語

獨逸は講和提議を拒絶に對して其立場を明にすると稱して中立國に通牒した文句の中に聯合側はアルサス、ローレンやヴゴヴイナや東普魯西の住民を輸送したと訴へて居るが御手前は何うだ▲塞耳維人は世界から一掃したと稱し輸送處おやない虐待も虐待近世史上にも稀な慘酷を敢てして居るではないか▲又白耳義人を強制的に持ち去る事は實に慘酷冷酷を極めて居る▲見るに見兼ねた市俄古デーリーニュースの通信員が報道したものを見ると▲強制的奴隷は遮二無二畜類用貨車に鮨し詰めにしてギッシリ詰め込まる、▲之に先つて其の親子兄弟姉妹などは死力を盡して其の汽車に抛げ込まれる父や兄や夫を奪ひ返さうとして猛烈なる爭鬪を起す▲結局憐れなる彼等は皆獨兵の銃槍の尖頭で追ひ散される▲すると今度は今や將に發車せんとする汽車の前の線路上に横はつて身動きもしない▲併し之も遂には銃槍を持つた獨兵の意志に從はねばならぬ事になると▲如何に獨逸の冷酷無道が證明せられて居るではないか▲平凡な補缺戰と見られて居た山口縣の衆議員補缺選擧も突如大岡硯海君の出馬俄に色めいて來たらしい▲同君の作戰計畫は意外に將なもので最近三萬通の依賴電報を飛ばして有權者を奇襲した▲すると敵の大將瀧口君其れと見て嚇となり是亦二萬通を飛ばした▲双方五萬通の電報は山口縣下殆んど到る處の電信局を占領した▲驚いたのは電信局で配達夫は大雪で閉口し普通の電報止めになつたとは如何にも其の模様か想像せらるゝ▲もしか今度議會が解散にでもなつたら總選擧は頗る賑ふ事だらう▲殊に成金が續出した今日であるから大分意外な人物が飛び出すのだらう

◎……周旋中に遭難 釜山牧ノ島

……歸途に就かんとする刹那北東の風に連れて怒濤起り忽ち該漁船は轉覆し……一時發見し凍死せんとせる三名を救助し漁船は其儘とし牧の島に歸著し釜山水産組合に其旨屆出でたるより同組合にては十日午前十一時神谷技手出張……

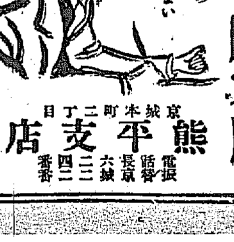
◎孀婦嬰兒を殺す 開城

東面釣松里朴德妃(四二)は孀婦の身にて大正四年舊十一月頃より同里貴明和……

門鑑紛失廣告

一歩兵第七十八聯隊門鑑第六十四號
一砲兵第二十五聯隊第六中隊門鑑第十三號
右大正六年一月九日午後五時ヨリ午後八時迄ノ間ニ於テ自宅ニテ紛失致候ニ付此段廣告候也
京城府龍山榮町 大草鶴之進

熊平謄寫版



さよう。熊平の原紙は實によい

京城本町二丁目 熊平支店 電話長六三三番 振替京城四二番

京日案内

普通 一回前金一行 五十錢 番外 一回前金一行 壹圓 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

確實有望雜貨化粧品特約店歸國に就き至急權利共居抜の儘讓る(姓名在社) 42

◎成金 東京大阪定期株各五十種の毎日高低を極秘迅速通信す詳細郵券要 京城蓬萊町三ノ四一 電通舍 50

古本と古樂器買受 ツツボヤ書店 本町二 電二五二七 39

◎古本熱心高價買入 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 電話二八七一番

◎店員募集 年齡二十二歲以上四五迄の者 但し市内に確實なる保證人二名を要す 明治町二 唐川吳服店 52

◎配達人募集 自筆履歷書持參來談あれ 但市内確實なる保證人二名要す 太平通二ノ十番地合名會社盛文堂 53

古本買受申候御報參上 本町一丁目(明治町通) 野村書店 電話二六三六番 51

番外

中古ミシン賣買 御用の方は御一報次第參上可仕候 京城鐘路二丁目 楠ミシン店 電二三三八 49

皮膚病黴毒淋病專門 京城明治町二丁目(元曙町) 看護婦入用 見習看護婦 佐藤醫院 46

財産利殖の最良法 (金儲の近道)株式相場の素養あり富豪又は資力家の財産利殖係に招聘せられたし(姓名在社) 33

恩給年金低利特別長期 即時 全額立替 極秘 ▲併金錢両替 商品陳列館表門前下角 京城永樂町一丁目 江州屋本店 16

◎質◎ 秘密 親切 勉強 若草町四十番地 荒井牧場向横小路 ㊂質店 13

恩給年金立替 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 利子年一割 京城櫻井町(大正館向) 元祖 博多屋本店 7

◎京城春川間行自動車賃金片道四圓 ◎京城春川間毎日午前八時卅分出發 南大門通一丁目 電話二一九番 京春廣橋自働車組 主務 金正潤 4

京城春川間 乘合自働車 賃金片道四圓 ◎京城發前八時 ◎春川發前八時 京城水標橋通り 電話貳壹參八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 2

はねつき うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 1

法人登記公告

松禾地方金融組合理事杉山貞幹ハ大正五年拾貳月參拾壹日辭任シ同日松禾郡栗山面邑内里六統七戸岡田豐次郎理事ニ就任ス
右大正六年壹月拾壹日登記
海州地方法院松禾支廳

商業登記公告

商號、高麗蔘業社、營業ノ種類、人蔘ノ製造販賣及人蔘ヲ原料トセル製造物ノ販賣、營業所京畿道開城郡松都面大和町七番地、商號使用者ノ氏名住所 開城郡松都面北本町百六拾四番地 朴宇鉉、同郡同面同町百九拾六番地 孫鳳祥、同郡同面同町參百五番地 朴容鉉、同郡同面同町四百參拾六番地 朴鳳鎭、同郡同面大和町七番地 金益煥
右大正六年壹月拾貳日登記
京城地方法院開城支廳

朝鮮總督府

一張石四百五拾山坪
右賣拂ス詳細ハ一月十六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

新刊圖書御案内

書名	著者	定價
◎實地應用蔬菜栽培の研究	片山熊太郎	八〇
◎惡童の研究	津柳政太郎	一、〇〇
◎商機と禪機	間宮英宗	五〇
◎決ノ擧	山崎繁	一、〇〇
◎日獨握手論	樋口麗陽	一、〇〇
◎朝鮮司法提要	高等法院	九五
◎杖の跡	大町桂月	一、三〇
◎教育行政及行政法	織田萬	一、八〇
◎實驗氣温育蠶法	佐原周作	一、五〇
◎現代都市の研究	片岡安	三、八〇
◎國民年鑑	大正六年	五〇
◎小唄選	湯朝竹山人	九五
◎最新復式商業簿記	志水治一郎	九〇
◎朝鮮六法全書	巖松堂	一、八〇
◎民事訴訟判決實例	同	三、〇〇
◎朝鮮鑛業要覽	鑛業研究會	一、二〇
◎旦那様と奥様	山村愛花	四〇

巖松堂書店 京城店 第二京城店 仁川店 京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四四番

新荷著 懷中時計

(ニッケル側)十八形(片蓋) 一圓九十錢
同 同 同 二圓五十錢
同 同 同 三圓二十錢
同 同 八日卷 九圓二十錢
同 十六形 同 六圓九十錢
同 同 同 四圓五十錢
ラヂユーム針付十六形 十六圓二十錢
同 十七形 同 十二圓卅錢
同 同 十七形 五圓
同 同(兩蓋) 十一圓五十錢
同 同 四圓五十錢
(鐵側)ラヂユーム入十八形(兩蓋) 四圓五十錢
同 同 五圓
同 川醒付 同 二十圓
同 十六形 同 七圓五十錢
同 同 八圓
(銀側)彫刻各色 十二形(片蓋) 七圓
同 同 五圓二十錢
(金張)十二形(半) 四圓五十錢
同 十七形(兩蓋) 十圓
同 十六形(兩蓋) 三圓
同 同(片蓋) 六圓
(十年保險) 十二 二十二圓
(二十年保險) 十八形 十八圓
(金側)十七形九金 五十六圓
同 同 片蓋 六十五圓
流行腕卷時計 十三形ニッケル 自三圓 至百八十圓
同 十三形ラヂユーム入 四圓五十錢
同 同 七十圓
同(銀側) 七十圓
同(銀側) 四圓三十錢
同 十四形 十三圓八十錢
同 十三形 十九圓
同 十四形 七十圓

右は今回新着の商品にて本商會獨りの特約品に有之 店に無き所のもの伏して願はくば急速御注文に對しては代金引換御地方遠隔の御方は小包郵便にて御送付申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

…地積組入の資金を要する事で…家の持米を放賣するもの多く殊に内…金の需要も之れ…地期米は投機熱の勃興せる折柄狂奔…勢なりしが中旬に至り突然歐洲戰亂…蹤を見ざりしかば新規の買出し…如く歳末に…

壯絕!雪のアルペンへ

登山者は皆雪燒で眞黑な顔

アルパインアクシデントの語は戰爭以來大いに下火に成つたけれども併し却々登攀者の數は多い登攀者は皆な雪燒で眞黑の顔をして歸つて來る氷河、恆雪の高峯に登攀する者は皆な底に大きな釘を打つた

◆靴を穿き手に 手に鳶鉤のやうなものを持つてそれを氷に打込み打込みして登つて行く同行者は三人乃至五人位宛繩で連絡を取つて同行者中の一人が不意に墜落するのを防いで居りますこれが爲めに時々一行、珠數つなぎに成つた儘で底知れずの谷底に落込んで敢へなき最期を遂げる者も少くありませんアルプの連山は中央サンゴタルド山を起點としてスイスの

◆南西に光線狀 に放出し其の主なるものはペンナインアルプ、レポンタインアルプ、ベルニースアルプ、リーシアンアルプ等で到る處に氷河の美しい景色が見られます、私の居りましたチユーリヒは獨逸へ近く兩國へ通ずる鐵道の通じて居る處でスライン河の上流リムマット河の吐口に臨み

◆市街の半分は 平地で半分は山腹の傾斜地であります、冬に成ると此の傾斜面を利用して盛に雪滑の競技が行はれます、此の市街は首府のベルンよりも大きく機織、化學工業の

◆最も盛んなる 處です私の入つて居つた政治大學及び此の市の工業大學は世界に有名の大學ですスチユーリヒは彼の大敎育家ペスタロッチの生れた處ですスイスは世界第一の山紫水明の處で山のアルプの奇峰群立し湖水にレマン、ボーデン、ルチエルン等の綸も亦及ばざる風光に富んで湖の水にも河の水にも曾て濁水を見た事は無いが其の癖水質は極めて惡く湯を沸すと何時も鐵

◆皆な水質が惡 いので其の鏽や鍋の底に白い粉が殘りますスイスにはよく女で喉の腫れた人が非常に多いのでよく聞いて見ると中毒であると云ふ事を聞きましたまたスイスは牧畜の盛んな處で牛乳の旅價な事は驚くばかり近來戰爭の爲め多少昂騰して居るがそれでも約五合の牛乳が八錢ばかりで買へる、スイスには少しの兵備もないなどと云つて居る人もあるが矢張りスイスにも軍隊はある唯召集期間が甚だ短か

◆二三箇月練兵 をするばかりだから一寸位行つて來た者には軍隊が無いやうに思はれるかも知れぬスイス人に云はせると之れでイザとなれば五十萬の兵馬は立所に動員されて伊太利一箇國位は向ふに廻はしてビクともせぬと威張つて居る(岩田新義兵隊の二)

新義州小學校の氷上園

月明を利用して夜間の練習

紀元節には一大氷上運動會

鴨綠江の氷上より申上候、長白山嵐近年稀なる猛寒を送り、境上の大江は例に依りて堅氷張り詰め

▲人馬來往 致し居り候、斯うなれば滿洲と朝鮮は全く境界無き陸續きの如うに覺え候、氷上のスケート園は年を逐ふて盛大に赴き零下三十度に近かき氷上の寒さも何んの其の、朝は元寶山の雪の尖紅に明くる頃より夕べは白馬の山巓に夕陽の薄れて行く頃まで氷上は何時も

▲スケート 園にて賑ひ居り候殊に近年は内地人を眞似て支那人朝鮮人等のスケーターも澤山見受申候今年も安東縣側にては滿鐵の運動部を中心にして小學校其他有志者にて幾多のチームを作り輻一哩長さ數百哩の江上を我物顔に滑走致し居り候之れに對抗し我が新義州側にても有志者の發企にて

▲氷上園を 組織し鴨綠江堤防外の江上にコートを建設致し日曜日は朝より夕刻まで又此の頃は月明を利用して夜間も盛んに練習致し居り零下二十二三度の寒さに流汗淋漓たるものも御座候來る二月十一日前後には新義州小學校にてその氷上園に於て氷上大運動會を擧行致し候

▲此の日は 番外として來賓の氷滑競爭も有之べく實に滿鮮スケー…

新義州小學校氷上園

撫順の椿事は

六箇月後には全然復舊の見込

炭塵爆發と判明す

滿鐵當局者の談に依れば「撫順大山坑の爆發原因は炭塵爆發にして安全燈久は燐寸類の過失により火を起し炭塵に燃へ移り終に爆發せしものならん炭塵爆發の豫防は「セキシン」撒布法を用ふるに在り而も其の準備進められつゝありし際此の臨川に先ち今次の椿事を見たるは返すくも遺憾の極みなり坑口密閉の坑内の火氣全く消滅するは一箇月乃至二箇月を要すべし大山坑の出炭は約四萬噸なりしが今後六箇月後には全然復舊の見込得べく六箇月後には全然復舊の見込にて出炭差支なく此の間他の諸坑にて一箇月六千噸宛出炭せば補充に差支なきも唯豫定以上の出炭を爲し能はざるのみ」と右に依れば爆發原因は人爲的にして多少手抜かりありしものと認めらるゝ滿鐵重役炭坑當局の責任に就き物議を釀しつゝあるも滿鐵にては冷靜に今後の計畫其他に就き腐心し居れり(大連特電)

鳳聲會と德永博士

京城實生流鳳聲會にては早大教授理學博士德永重康氏の來京を機とし歡迎の意を兼ねて十四日午前十時より本町梅の家に於て新年初會を催したるが來會者の主なるものは岡本桂次郎氏島田志郎氏及び上田徹氏其他紳士淑女五十餘名にして德永博士は船辨慶弱法師及び高砂の三番を演じ猶船辨慶の仕舞ひあり最後に記念撮影をなし散會したるが非常の盛會なりし

●東京府立第二高女同窓會　東京府立第二高等女學校出身者は十五日正午京城ホテルにて同窓會を催したるが頗る盛會なりしと

熊を逐うて

(五)勇ましい鮮人の熊狩

北鮮地方の山間に居住して居る朝鮮人の多くが多になると牧狩の勢子をしたり或は自分から熊獵をして生活して居る事は前にも申述べた通りであります朝鮮人を勢子に傭ひ入れると悅んで登りきすそうして各自に綿を懷に一杯に充めて來るのです此の綿は熊を殺つた時に血を滲ます爲めです朝鮮人の間では

熊の血は奇蹟以上

の靈藥です切創、打撲傷、頭痛、腹痛、癩氣、癩瘍、中風、産前、産後、虎列拉、まづ萬病即治の靈藥として居るのですそれ故熊を打止めると勢子の者は皆な寄り集つて我先きの綿に爭つて血を滲ましますこの血綿を薬に用ゐる時には濁水に解かして呑むなり塗布なり致すのであります又朝鮮人の熊狩も頗る勇壯なものであります握り太の長さ二丈もあらうと思はれるやうな槍を提げて七八十人の獵夫が吶喊を揚げて山谷に亂れ入る樣は實に

物凄まじい光景で

あります、彼等の熊狩を爲る日は必ず大雪の降る時に限ります熊も深い雪の中でよく驅けないのです彼等は先づ熊を發見すると熊よりも高い位置に上り熊を目覺けて走り下るのです獵夫は皆な足にスキーを穿いて居ります一番鎗二番鎗と極まつて居つて一番鎗が熊の居る澤より外れて別の谷に落ちた場合には二番鎗が直ちに熊に當ると云ふ風です

スキーで雪の谷間

に飛び下る疾さと云ふものは實に疾風迅雷形容し離い位です其の飛び下る勢を利用して鎗を熊に突込むので鎗を摑んで寸なに引け切つて直ちに鎗を付けたものなら熊は直ちに其の鎗を掴んで寸なに引け切つて直ちす其の際も誤つて胴から下の方へでに人を突倒しに蹴るから鎗は肩から上に突込むのですそうして其の突込んだ鎗を放さずに力を込めて其の儘谷底の方へ押し下すのです二番鎗以下は鎗を杖にしてスキーを飛ばせて其の後に續いて走り下るので斯くして谷の底か山の麓まで突き落す頃には熊も大分弱りますから

其處で止めを刺す

のです、此の獵法の他に穴獵と云ふが有りますそれは熊の居る巣を見付けて其の穴の前に一同鎗を突立つて立並び口々に大聲を揚げて『ナオラ出て來い』と呼ぶそうすると熊は穴口を見廻はしながらそろくと出て參る不思議な事に熊は穴から出るなりすぐに人に飛び付く樣な事は決して無い穴から出て世間を一廻り見廻してから猛り出すものですから穴口を出る時は一番鎗が

肩先目覚て一突き

に突く其が好い斷機に刺むると自餘の獵夫は皆な鎗を捨てゝ其の一本の鎗に取付いてエイヤくと突き詰めるのである、此の際に必ず老練の指揮者は一人槍を突立てゝ其の樣子を見守り萬一失策じた場合の後詰をするも又熊が愈な弱り果てたと見れば此の指揮者が鎗を押つて止を刺すのである實に見て居るだけでも溜飲の下る程心持の好いものです(終り)

春場所

(十五日午後九時十八分東京支局特電)

四日目

東軍稍盛返す

十五日の四日目は藪入と好取組多きため盛況にて東軍稍大勢を挽回し兩軍の勢力互角となれり當日の主なる勝負五日目の取組左の如し

勝		負
柳	荒	玉紀の川
常の花	花の山	明(預)清瀬川
大の商	稻葉嶽	大呷
大潮	八甲山	稻の穗
駒泉	琴ヶ浦	鳴門洋
		藤の川
逆鉾	千年川	龍ケ崎
小常陸(休)	若島	君ケ濱(休)土州山
		眞砂石
		梅
		押川

中入後	

▲駒泉に琴ヶ浦 は本社豫想懸賞出題の好取組新入幕同志なり琴の出鼻を駒イナして叩き込み殘すを再び叩き込んで駒の勝は架固くなつて手も足も出ぬ樣なり▲逆鉾に千年川は逆左を當てゝ押進み千年がその手を取つて引き落さんとするを預けて押切り逆の勝▲眞砂石に梅川は烈しく突き合ひ梅再三叩くを眞砂よく殘し最後の叩きにつけ入り遂に突き出して勝

▲宇都宮に千葉崎 初顔合の事なり好取組なり立ち上るや一突き突き合ひ千葉左を差し一氣に寄進み宇都の打棄らんとするを外掛に浴びせて寄り倒し美事千葉の勝けに見はたるに西溜りの控わ力士より同體なりとの物言つきしも四本柱の檢査員絕對に之れを斥ぞけ千葉の勝に決したり

▲兩國に浦の濱 はバッタリ左四ツとなるが否や浦攖引に吊るを兩外掛けに防ぎ立てゝ殘し浦再び吊りに來るを上手投げにて兩の勝は大喝采

▲源氏山に伊勢濱 はガッキと右四ツとなるや伊勢一流の强引に押進み源氏が土俵際に殘さんとするを體を預けて寄り切り伊勢の勝は流石に大關▲大錦に玉手山は右四つ錦一氣に寄り進む出鼻を玉手首投げに引かんとするを錦心得てその手に乘らずそのまゝ寄り切つて勝

▲九州山に太刀山 は仕切直し待つたの數を重ねて立ち上るや太刀一流の上突張猛烈に極めつくるを九よく殘して右筈となるや太刀も同じく右を差して鋭く寄り進み九州が土俵際に殘さんとするを强引に突き放して太刀の勝

▲大門岩に敷島は大門右を差して寄らんとするを敷小手投にて勝▲釋迦ケ嶽に紅葉川は紅葉の突張るを釋迦受け流しつゝ敵の左を引張り込んで小手投を打ちしも突き手のため紅葉の勝となる▲紫雲龍に大鳴門は鳴門の上突張を紫雲體を交してイナシそこと突き放して鳴門の勝▲一湊に石山は右四ツ石上手投を打つを一殘して下手投を打ち返して勝

▲宮城山に大響 は宮城の二本差を響門に撓めしも解いて小手投を打たんとする所を隙さず突き放して宮城の勝

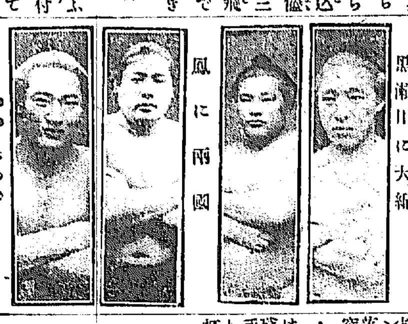
▲岩木山に大戸平 は岩木の邁二無二突き立て大戸の逡巡ろく所を双筈にて押切る

▲鳳に栃木山 は双方念入りに仕切りて立ち上るや栃木左を當て一氣に割らんとするを鳳右手に捲いて小手投を打つと見せ栃木のツン地へて腰を入るゝ所を前に引き落せば栃木バッタリ前に落ち兩手を突き美事鳳の勝は滿場大喝采

▲西の海に黑瀨川 は黑瀨の出鼻を西イナシたるも黑瀨殘して身を浮かして寄り進み西の上手投を打たんとするを體を預けて寄り切つて黑瀨の勝は大喝采之れにて打ち出し

五日目の好取組

千葉崎	(もたれ)	宇都宮
兩國	(うはて)	浦の濱
伊勢濱	(なげ)	源氏山
大錦(より)玉手山		
太刀山	(はなしき)	九州山
中入後		
敷島(おし)大門岩		紅葉川(はなしけ)釋迦嶽
大鳴門(はなし)紫雲龍		一湊(なげ)石山
宮木山	(つき)	大響
岩木山	(はなしき)	大戸平
鳳	(おとし)	栃木山
黑瀨川	(より)	西の海



黑瀨川に大錦　鳳に兩國

五日目の取組

東		西
一港	(藤の川)	常の花
千葉崎		明
敷島		龍ケ崎(土州山)
鳴門洋	(釋迦嶽)	紅葉川
紫雲龍		梅川(大鳴門)
大響		千年川
九州山	(栃木山)	大戸平
逆鉾		
浦の濱		西の海
鳳		兩國
中入後		
琴ヶ浦(宮城山)		八甲山(源氏山)
玉手山(小常陸)		黑瀨川
太刀山		大錦
岩木山		伊勢濱(宇都宮)
石山(大門岩)		眞砂石(駒泉)

春場所成績表

●國技館大相撲(表中○勝●負△預×分)

東の方

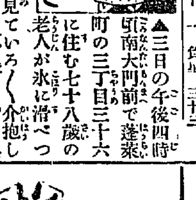
力士	一	二	三	四
鳳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
伊勢濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
太刀山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝潮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大戸平	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉手山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黑瀨川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
眞砂石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大響	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鶴渡り	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
浦の濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千年川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大鳴門	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
若葉山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土州山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
敷島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
若島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
柏戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
琴ヶ浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳴戸洋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八甲山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

勝星 三十六　負星 四十

西の方

力士	一	二	三	四
對馬洋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西の海	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大錦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兩國	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九州山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宇都宮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小常陸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
枝川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
源氏山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
碧ヶ濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩木山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釋迦嶽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
梅川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
逆鉾	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
近江富士	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紫雲龍	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一港	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
駒泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四海波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大門岩	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍ヶ崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

勝星 三十七　負星 三十三



▲三日の午後四時頃南大門前で蓬萊町の三丁目三十六に住む七十八歳の老人が氷に滑べつて苦んでゐるのを見ていろく介抱して車に乘せて永樂町の病院まで送り届けた人があつた▲老人は其際その切な人の名前を聞くのを忘れたので其の家族は禮を言ふにも言はれないから何とかして其人に住所を知らせて呉れるやうに貴社の力で爲て貰ひたいと依賴狀が來た▲凡て美しい話のお取次なら何時でもするから遠慮なく申出であつて然る可しだ

は去る九日午後三時頃牧の島沖合約八浬の海上にて鯛延繩漁撈中俄かに天候險惡しく風浪高くなりし爲め…船に嚙附き寒潮に漂ひ居たるを同…き來らんと沖合に出でしに之れ亦颶風に逢ひ危險極りたるを以て引返し…たる而巳にて人命に異狀なかりしは不幸中の幸と云ふべし(釜山)

…にて女兒を分娩したるも外聞を恥ぢ直ちに壓殺して密葬したるを此程發見して長箭警察分遣所にて逮捕され目下取調中

丈夫な!!丈夫な　二重底の　ヤマト萬年靴
一號四圓五十錢(編上短靴)　三號五圓(同右長)
特價二號四圓五十錢(深ゴム)
別製二圓九十錢(編上短靴)
ヤマト萬年靴は何故强い?丈夫なるべき點に思ひ切つて良い材料が使つてあるから
ヤマト萬年靴は何故安い?丈夫一方に全力を注ぎ無駄な費用が一厘もかゝつて居ないから
是非く御試用あれ　ヤマト萬年靴を
東京神田和泉町　ヤマト商會　振替東京三四一八六

眼科内科小兒科　入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
本田醫院　院長本田建義

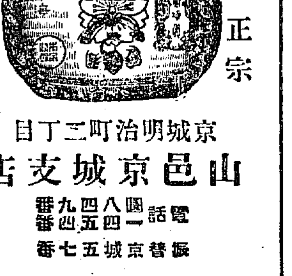
銃獵の趣味　朝鮮獵友會長三島太郎君校閲　同會員吉村甫城君著(定價四十錢郵稅二錢)
今や狩獵の好季節となれり狩獵者として必讀缺く可らざるものは本書也卷中蒐むる所銃獵の趣味ご修養、銃器、彈藥、射擊、出獵、獵區、獵犬に關して詳説餘蘊なし附錄として狩獵規則其他狩獵の好場所を指示し獵者の案内者たり是非一本を購して携帶するを忘る可らざる也
京城太平通　京城日報代理部(振替京城三〇〇番)

各國時計　自轉車　蓄音器　直輸入卸商
京城黃金町二丁目(電話一〇一五番)　喜多金光堂　振替口座七八二番

開業　太平通二丁目五八(麗華園裏)　本多質店

内科小兒科　入院隨意(普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目　小林醫院　醫學士小林千詩　電話六九二番

比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗　サクラ正宗



京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話四八一番四五九番　振替京城五七番

小兒齒科口腔衞生科齒列矯正科
京城府龍山榮町　龍山齒科醫院　電話五五五番

資本金貳千百五拾萬圓　積立金九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)　頭取佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候　内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

イゲダ小兒病内科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前(入る旭町四丁目)電話(醫院二三四番 自宅八八〇番)

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

五十 遺書「十」の五

『おツ、然う被仰るのは、番町のお久さんでは御座いませんか。白富さんは、只つた今方まで來て居られましたが、つい其處へお歸りになつた所です』

老母は、呆氣に取られながらも、有の儘に路次口の方を指示めしながら答へた。

『あの、それでは……只つた今歸りました所ですか。何方の方へ曲つたか分りませんでせうかね』

お久は、斯う言ふ間さへも、狂人のやうな眼を爲て、きよと〳〵と前後を見廻はす。

『何方へお曲りになつたかは、判然と分りかねますが、多分お宅の方へ向つてお歸りになりましたでせう』

『いゑ〳〵、それならば、妾がその還で會はなけりやならない筈です。大變な事が出來かけて居るんですから……』

と、お久は噛み付くやう。

『本統にも嘘にも存じないから存じないと申すんで御座います。大變とは、何事か起つたのです？』

『いゑ〳〵、大變なんです。それぢや、宿はもう死んで了つたのかも知れません』

『ほ、ほ、ほ、何をまあ貴女は被仰つてるんです。只つた今……三四分前まで、妾と此處でお話を爲てお歸りになつたばかしだのに、死ぬも生きるも、そんな間がありは爲ないでは御座いませんか。おツ、然う云へば、白富さんが、火鉢の前に、こんな包みのやうな物を忘れてお在になつたやうですから、乾度今頃は、途中で氣が付いて、引返しておいでかも知れませんよ。まあ、鳥渡お上りになつたら宜いぢや御座いませんか』

『おツ、それではあの、宿が包みのやうな物を忘れて參りましたつて？お手數ですが、一寸開けて見て頂きたう御座います』

老母は、餘事なしに總十郎の忘れ歸つた小包を取上げて、電燈の灯に見ると、自分の日々役所へ持つて行く手帳やうの物が一冊と、別に幸三郎母子に宛てた一通の手紙とが出て來た。

『まあ、お久さん、妾ども母子へ宛てた手紙が出て參りましたよ』

詰り、忘れ物ではなくして、故意に置いて行つたものと分つた。

『そ、そ、それなんで御座いますよ。お袋さん、妾の大變と申しましたのは、御面倒でも大急ぎに讀んで見て下さい』

お久は、いよ〳〵狂亂の體であつた。足さへ地には著いて居ぬらしい。

『讀めと被仰つても、妾の眼ではなか〳〵……幸三郎や、お前鳥渡來て讀んで見て下さい』

總てに面倒臭がりの幸三郎は、母とお久との問答を聞き付けぬではなかつたが、故意と知らぬ顔して、次の一室に引込んで居たのである。然し、何とやらん、事態容易ならぬ形勢が見えて來たので、母の呼び聲をきツかけに其處へ出て來て『阿母さん、何事が起つたんですか、大層騷々しいやうですね』

『何事ではありません、是を急いで讀んで見てお呉れ』

『へい、遺書然たる文句が書いてありますよ。嚴式のお家流だから、僕にも甚だ困ちまいますね。何だ……男子が一旦堅い誓約を取交して置きながら、怎麼に境遇の變化とは申しながら、金錢の慾に迷ひ、義理人情の辨別を知らざる後妻お久の語に惑はされて、天にも地にも掛替のなき一人の娘を生ながらの地獄に突き落し、一方には又行末かけて、婿勇となるべき貴殿を誑かりて、只管老の安樂を貪らんと企て候段の拙者の所行は、天地人道に反き果てたる罪の上の大罪に御座候。仍て拙者儀は今更おくればせには候へども、自分一個の命を捨て、三方四方への申譯相立て、且は犯せる罪の消滅を祈り可申き覺悟に御座候。只最後の御願ひは、娘絹代が上に御座候。非道の親ゆゑに、悲ひ處女の操は穢されて候ても、心までは恐らく穢され申すまじくと存じ候。是も親の慾目とは存じ候へども、萬々一にもまだ心まで穢されて居らぬ證據の相立ち候揚合も有之候はゞ、一切の事は、拙者の二ツなき命のお詫に免じて、呉れ〳〵も御許し下さるやう……』

此處まで讀み來つて、幸三郎の聲音は、礑と咽喉底へ粘り付いて了つた。

小雅集

去る十三日の土曜日午後二時から大和町高島張造氏の宅に碁會を兼ねた新年宴が催ふされ席上謠曲も出で俳句の會に終つた、會するもの入道魚骨、永井左南、三浦橡亭及び僕の數羅であつたが今其の二三を摘記する（靈洲）

▲俳諧常話遊ぶ心も松の内 左南
▲春角力酒論の圖となりにけり 靈州
▲非に負けた飲んだ諸だ是で乘 橡亭
▲松の内我終にボクなかりけり 魚骨
▲四温の宵酒酣醉き惱みかな 靈州
▲謠いけり舞ひけり貼口も春の人 左南

俳諧散心（第二十三回）

初東風や一山統ぶる松のあり 北星
初東風の家餘して少し酒の醉 同
道に向けて煤降らす家や枯柳 同
初東風や弦音高き弓場の朝 友春
下駄草履彩美しき歌留多客 同
煤拂ふ新裏に畑の骸哉 同
學齡の兒に年玉の文具哉 耕伯
隣國の雪運び來し列車哉 同
朝霜を踏んで葬の叫びかな 同
古都に來て宿に驕る爐に酌む 宵丘
木枯や石で抑へし土室の屋根 同
薬で包みし煙突低き多構 同
我飛べば影飛ぶ礎多の月 容堂
氷上を來れば犬吠ゆ月の邑 同
空葬興渦きある畠や洲の焚火 同
年玉に御のみの叔母恐し 田打夫
手鹵明早も日落ちし縁寒し 同
戸下ろして雪となりし街松の内 同

●來る一月十八日（舊十二月二十五日）夜、排句會[illegible]

新刊紹介

▲農業世界（新年號） 第二木位農業としての養蠶の前途（浩浦子）宗者の運動與『米津生』製紙原料用材に就て『並井博士』『愈々米價騰貴の時代來る』『加賀郡之吉』小學校に於ける農業科『緒山榮次』『青年團に對する希望』『赤司鷹一郎』等及び農家實記を附錄す此種雜誌中有數なるもの（二十二錢東京市日本橋區本町三博文館）

▲青年（新年號） 上院の任務と二院制度の効用『永野博士』日本の租税制度に就て『神戸博士』參政權の運用と民意政治の向上『浮田博士』[illegible]（東京市芝區三田四國町）

▲都會及農村（新年號） 自治と農村『松井博士』農村婦人と家庭問題『山中[illegible]』[illegible]

▲東京（新年號） 大戰終局時期の豫想[illegible]

▲水産界（新年號） 樺太漁業の地位與に其の將來如何[illegible]

▲食物の養生（新年號） [illegible]

▲大日本（新年號） 大戰後新年五十年[illegible]

▲趣味之友（新年號） 大正五年趣味史は美術演藝流行[illegible]（東京市牛込區東五軒町一共社）

▲滿鮮實業界（新年號） 實業と白衣『百仁武』中日貿易會社の事業と支那事業家[illegible]（三十錢大連市伊勢町八）

▲臺灣教育（新年號） 歐米紀行『所感』[illegible]

▲日印協會々報（二八） [illegible]

▲教育の實際（新年號） [illegible]

▲農業雜誌（新年號） [illegible]

▲極東時報（八） [illegible]

▲夕空（新年號） [illegible]

▲大阪朝鮮貿易商報（新年號） [illegible]

▲經濟資料（新年號） [illegible]

商況

四月限 一七六、二〇 一七六、二〇
五月限 一七五、〇〇 一七五、〇〇
六月限 一七五、〇〇 一七五、〇〇

▲後場の手振 [illegible]

▲④能く賣る [illegible]

▲㊉能く買ふ [illegible]

▲日光相場 [illegible]

▲現物界 [illegible]

タンセキ改良新劑 肺病豫防劑

呼吸器散 呼吸器丸

本劑は高貴の杜撲樋喉の特効劑を配伍せるを以て如何に猛き呼吸器病にても一週間程試みよ たんを鎭りセキを鎭め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏する事確實なり。

かゝる時偉効あり
▲息苦しく胸痛む時。
▲咳出夜眠られぬ時。
▲たんに血の交る時。
▲聲嗄れ出でざる時。
▲のんど腫れ痛む時。
▲たんせき切れ難き時。

價 十錢 貳拾錢 四拾五錢

本舖 大阪心齋橋 東京 丹平商會藥房 全國到る處の各藥店にあり

鼠毛布

東洋毛布會社工場製品 貳枚續き壹枚 金貳圓八拾錢也 本品は路傍軍隊の注文品にて廣告の爲二千枚限り御高需に應ず ハガキにて注文せば代金引換にて送附す

東京市神田區岩井河岸 東京織物○○販賣所 振替口座七三四六番

りん病七日藥

麻除は左記重症を專門治す 慢性麻病●●急性麻病●●女子淋病 睾丸炎 尿道狭搾 膀胱加答兒[illegible] 請合 效能 時々再發百藥無效で困る人端書で申込あれ詳報す

大阪南區堺筋周防町南入 山口商會

再診療開始

昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ケ月間再び診療を開始す

痔核。痔瘻。脫肛。直腸脫。痔出血。裂痔

京城長谷川町安東病院（電七三二內田旅）

肛門病注射專門

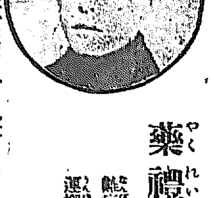
最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

藥禮の巨石

鮮病根治の禮に巨石の所望 運搬の途中に見飽きて棄つ

中村吉右衛門談

京都洛中に村上東川と云ふ名醫がございまして、その名國中に響いて居りましたが此人となり磊落で慾の少い人でありました。歐州侯が久しく病氣に罹つて居られたので此村上東川を招いて治療を請はれました東川先生は鼎島迄出向いて治療を加へ流石の難病を根治しましたので侯にも非常のお喜びで『此お禮には何にても所望のものをお贈り申さう』と仰せられた處が慾の少い村上先生『此ぞと云て別に望のものもござらぬが折角の御厚意なれば御庭に見ゆまする彼巨石を頂戴いたし度い』と申出ました。侯はお笑ひになつて御承諾ありましたが、さて其石は幾尋も廻らうと云ふ程の巨石此を鹿島から京都迄運ぶのでございますから中々大抵のことではございません。命の親の所望でございますから百人位の人夫に此石を曳せまして村上東川の伴をさせました。安藝を過まして備後備中、備前と過て播磨路まで參りますと安藝を立てから最う幾十日と經ちまして村上先生幾十日の間此石を朝から晩迄守護して來ましたので、つく〴〵見厭になりまして果てたものと見まして人夫どもに向ひまして『もう澤山だから其方共は此から歸れ』と云つて人夫達をそこで解散させて石は濟に棄てたまゝ自分はすた〳〵京都へ向つて歸つたと云ふことでございます。お正月で集りました席で斯樣な話も亦一興かと存ます初春のお出かけには御召換になりますことですから御婦人方はお化粧をなさらないと妙に寂しいものでございますがお化粧には濃化粧にいたしましても薄化粧にいたしましても土臺になります地肌を整へることが第一でございます。地肌を整へますには入浴をしますに越たことはございません。ミツワ石鹼は專門家に伺ひますと、不純な混合物はなく遊離のアルカリも遊離の脂肪もない化學上の純石鹼であります上に原料にいゝ脂肪を用つて日本人の皮膚に適樣に特に研究して精製されたものでございますから皮膚のために宜しいのは勿論洗ひ心地も非常に宜しうございます。浴槽の中で温まつて肺かになりました皮膚へ此ミツワ石鹼を塗りまして指で靜かに撫ますと汚垢は此石鹼の作用で吸はれる樣に此泡沫に混りますから此を湯で洗ひ流しますと氣持よく落ちて皮膚は清潔になり、營養は助けられて機能はすこやかになり皮膚は生々といゝ色澤になりまして白粉ののりものびもよくなつて自在な化粧が出來る樣になります。此の入浴の際に浴槽の中か上り湯の桶の中へミツワ花の雫を滴して用ゐますといゝ芳香が立ちますから快く入浴が出來ます上に、ミツワ石鹼を助けて一層よく皮膚を整へます。



▲中村時藏曰く 髮脂除香水と云ひますと大概の毛を傷めたり毛根を弱つたりするものが多かつたのですが、ミツワ印のには決してそんなことはなく頭髮用香水としましては、此上のないものでございます。温雅な芳香で、毛髮の發育をよくし、脫毛髮脂の過度を防ぎ、毛髮の色艶をよくしますから、此の所には殊に人に多く逢ひます折には、殊更用ひなければならないものでございます。

（ミツワ文庫六●一）

最上醤油

朝鮮仁川府 高杉醤油醸造場

りん病 ばい毒 請合

京城南大門外停車場通り ドラッグ商會朝鮮本部

詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覧ニ仕掛アリ御注意

大邱浦項間自動車時間

	一番	二番
上り 浦項發	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
大邱着	[illegible]	[illegible]
下り 大邱發	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
浦項着	[illegible]	[illegible]

大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○有吉丸 一月 日後四時出帆
○大吉丸 一月 日後四時出帆
○秀代丸 一月十六日後四時出帆
○君が代丸 一月 日後四時出帆
○神代丸 一月 日後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
○立神丸 一月 日後五時出帆
○小倉丸 一月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○立神丸 一月 日後十時出帆
○小倉丸 一月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三平丸 一月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三平丸 一月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸 毎月二日八日十四日廿日廿六日（ ）午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

外航路所以航路遠洋航路を除く出航の時は正分門を以て聯絡切符を發賣候

○群山、木浦、釜山、門司、神阪行
○薄州丸 一月廿一日 出帆
×天智丸 一月廿五日後五時出帆
×安東丸 一月廿七日 出帆
◎神戸大阪行
大信丸 一月十七日正午出帆
○木浦、釜山、嚴原、鬼の浦、長崎行
信濃川丸 一月十九日正午出帆
信濃川丸 二月三日後二時出帆
×群山、釜山、桟橋行
○潮州丸 一月十七日後二時出帆
△麗州丸 一月 日
×大連行
○大連丸 一月十六日正午出帆
信濃川丸 一月三十日正午出帆
×信濃川丸 一月 日
×大連直行
○臺東丸 二月五日正午出帆
○清津、元山、鎭南浦、城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲印平丸 二月三日後十二時出帆
▲安平丸 一月二十日
▲宮島丸
○木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
大智丸 一月 日正午十二時出帆
天智丸 一月 日
×上海、芝罘、天津行（大連廿日出帆）
○基隆丸 二月八日前六時出帆
湖北丸 一月廿六日後四時出帆

御注意 乘船切符並に御乘船の際は手荷物運賃前納の事を切符發賣所に於て御購入あれ

切符發賣所 京城 大阪商船會社仁川支店 電話二番五〇番 內國通運會社支店 電話七〇八番

●中國四國沿岸各港船客に對し一割引の切符發賣仕候

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
○芝罘、大連行
第一共同丸 一月十九日入港 一月廿一日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候 大連にて通し旅客荷客取扱可仕候

仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部 春日町（電話二四七番）
京城取次店 河村運送店 南大門（電話二六八・二〇七）

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三二番 京城南大門通 松原運送店（電話長一七〇番）
朝鮮鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり 詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會ありたし

○全羅丸 一月廿三日 釜山發
○京畿丸 一月 日
○黃海丸 一月 日
○咸鏡丸 一月二十日
門司より釜山各港寄港城津行
○穩城丸 一月 日
○昌平丸 一月十七日 元山發
○鏡城丸 一月 日
元山より各港寄港城津行
○昌平丸 一月十六日 元山發
東海岸各港寄港長崎行
○益德丸 一月 日 釜山發
甘浦、九龍浦、浦項、各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 毎日 釜山發
○襄陽丸 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 一月十六日 釜山發
長承浦、巨濟、巨文島、濟州島各港寄港
○海州丸
○統營丸 毎日 釜山發
各港寄港水麗行
○巨濟丸
○慶寶丸
○順天丸 三日目每に木浦發
各港經由濟州島行
○慶興丸 一月十六日 木浦發
各港寄港濟州島行兩回
○慶興丸 一月 日 木浦發
南多島海列島行
○公州丸 一月 日 木浦發
各港經由濟州島員（東廻）
○ 丸 一月 日 仁川發
海州他各港經由鎭南浦行
○江原丸 一月十八日 仁川發
芝罘、大連、青島行
○晋州丸 一月十八日 仁川發
○慶水丸 一月 日
各港經由木浦行
○全州丸 毎日午前 仁川發
○錦江丸
江華島、喬桐島、海州行

日本郵船仁川出帆

○大連行、秦皇島行
營口丸 一月十五日正午出帆
淡路丸 一月廿一日正午出帆
砂丸 一月三十日正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 回漕部